

**令和5年度**  
**教育に関する事務の管理及び執行の状況の**  
**点検及び評価の結果に関する報告書**



令和6年8月

庄原市教育委員会

## はじめに

本市では、「美しく輝く里山共生都市～みんなが“好き”と実感できる“しょうばら”～」を将来像として掲げ、まちづくりを進めています。

教育委員会では、教育の理念を「ふるさとの学びを原動力として高い志を持ち続け活躍できる人材の育成」としています。子供も大人もふるさとの学びや体験を通して、「主体的に学び、グローバル社会をたくましく生き抜く人材」「庄原市の将来を担うとともに国際舞台においても活躍できる人材」「社会に貢献し新しい時代を築いていく人材」の育成を目指し、活気と潤いのある「学びと誇りが実感できるまちづくり」に取り組んでいます。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、毎年、前年度に実施した業務や事業について教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を報告書にまとめ、市議会に提出し公表しているものです。

なお、この点検及び評価にあたって、庄原市教育事務評価検討委員設置要綱に基づき、教育に関し学識経験等を有する方々を当委員会委員として、多角的な視点・観点からの貴重なご意見やご助言をいただいています。

今後とも、課題や取り組みの方向性を明らかにし、信頼される教育行政の推進を図るとともに、市民の皆様への説明責任を果たし、教育行政の一層の充実に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

庄原市教育委員会

# 目 次

I	教育行政施策の点検・評価の概要	
1	目的	1
2	点検・評価の対象及び実施について	1
3	点検・評価の判断基準	2
II	「令和5年度教育行政施策の方針」に基づく点検及び評価の結果	
	点検・評価の結果一覧	3
	<b>学校教育</b>	
1	学校教育の充実	
(1)	確かな学力の定着・向上	6
(2)	豊かな人間性の育成	10
(3)	健康・体力の保持・増進	14
(4)	今日的課題への対応	18
(5)	教職員の資質向上	24
(6)	学校教育環境の充実	27
	<b>生涯学習</b>	
2	生涯学習・社会教育の充実	
(1)	学習機会の提供	34
(2)	学習活動の支援	37
(3)	読書環境の充実	40
3	芸術・文化の推進	
(1)	芸術・文化活動の推進	42
(2)	文化財の保存・活用	46
(3)	博物館・資料館の活用	50
4	スポーツの推進	
(1)	スポーツ活動の推進	57
(2)	スポーツ環境の充実	62
	<b>家庭・地域の教育</b>	
5	家庭・地域の教育力の向上	
(1)	教育風土の醸成	65
(2)	家庭・地域と一緒に取り組む教育活動	67
III	教育委員会委員の活動状況	
1	庄原市教育委員会委員	70
2	教育委員会議の開催状況	70
3	教育委員会議の議決案件及び主な報告・協議事項	71
4	教育委員会議以外の活動状況	73
IV	教育事務評価検討委員の意見	
1	庄原市教育事務評価検討委員	75
2	点検及び評価の結果に関する意見	75

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）

第26条（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# I 教育行政施策の点検・評価の概要

## 1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を議会に報告し、市民に公表することが義務づけられています。

この点検・評価は、本市教育行政の推進に資するとともに、市民に対する責任を果たすことを目的としています。

## 2 点検・評価の対象及び実施について

令和5年度の点検・評価については、「庄原市長期総合計画」に掲げる教育・文化に関する基本計画に基づいて、教育委員会が策定した「令和5年度教育行政施策の方針」により、重点施策として取り組んだ施策及び事務事業について、点検・評価を実施しました。

学校教育の分野では、「ふるさとを愛する心を持ち、主体的に学び続ける児童生徒の育成」をテーマに、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指した主体的な学びの教育活動の推進、児童生徒の自尊感情や規範意識の高揚、健康で活力ある態度を養う教育の充実、学校・家庭・地域が一緒になった児童生徒の育成に向けて、「確かな学力の定着・向上」「豊かな人間性の育成」「健康・体力の保持・増進」「今日的課題への対応」「教職員の資質向上」「学校教育環境の充実」を柱として取り組んだ26項目を対象としています。

生涯学習の分野では、「豊かな心を持ち主体的に学び続ける人づくり・地域づくり」をテーマに、市民一人一人が生涯にわたり主体的に学び、その成果を社会参加に反映できるように、また、人と人、人と地域、地域と地域が確かな絆で結ばれた地域社会の実現ができるように、「学習機会の提供」「学習活動の支援」「読書環境の充実」「芸術・文化活動の推進」「文化財の保存・活用」「博物館・資料館の活用」「スポーツ活動の推進」「スポーツ環境の充実」を柱として取り組んだ27項目を対象としています。

さらに、家庭・地域の教育力の分野では、「学校・家庭・地域の連携」をテーマに、子供の育ちを支える地域や学校、関係者が子供としっかり向き合い、子供の心に寄り添いながら、一緒になって子供を育てるように、「教育風土の醸成」「家庭・地域と一緒に取り組む教育活動」を柱として取り組んだ5項目を対象としています。

点検及び評価の充実を図るため、学校教育関係者、社会教育関係者、有識者等による庄原市教育事務評価検討委員を設置し、点検及び評価の内容について調査及び検討を行っていただくとともに、同委員と教育委員会委員が一堂に会し、点検・評価結果に関する意見交換会を開催し、本市教育行政に対する意見や助言等をいただいています。

### 3 点検・評価の判断基準

点検・評価にあたっては、「令和5年度教育行政施策の方針」に掲げた重点施策の体系に従い、項目ごとに【取り組み・実績】【成果・効果】【課題・対応】について整理するとともに、併せて、「事業の成果」「方向性」の各観点から個別点検を行い、次の基準に従ってそれぞれの評価指標を提示しています。

#### 1 事業の成果

評 価	判 断 基 準
A	施策や事業の目的・目標が十分に達成された
B	施策や事業の目的・目標に対して、概ね達成された
C	施策や事業の目的・目標に対して、達成状況は低かった

#### 2 方向性

評 価	判 断 基 準
拡大継続	事業効果が高いため、さらに事業を拡大または充実して継続すべきである
継 続	事業効果が認められるため、継続すべきである
縮小・休止	事業を縮小または休止すべきである
完了・終了	当該年度をもって、計画または予定どおり事業が完了（終了）した

## Ⅱ 「令和5年度教育行政施策の方針」に基づく点検及び評価の結果

### 点検・評価の結果一覧

施策の分野	施策の基本方針	主な取り組み	点検・評価の結果		ページ
			事業の成果	方向性	
1 学校教育の 充実	(1) 確かな学力の定着・ 向上	①主体的に学び考える教育の推進	B	拡大継続	6
		②読書活動の推進	A	拡大継続	7
		③外国語教育（活動）の推進	B	拡大継続	8
	(2) 豊かな人間性の育成	①道徳教育の充実	B	継続	10
		②生徒指導の充実	B	継続	11
		③体験活動の充実	B	継続	12
		④芸術教育の充実	B	継続	13
	(3) 健康・体力の保持・ 増進	①心身の健康保持増進	B	継続	14
		②安全教育の推進	B	継続	15
		③食育の推進	B	継続	16
		④体力づくりの充実	A	継続	17
	(4) 今日的課題への対応	①情報化に対応した教育の充実	B	継続	18
		②社会的自立に向けた教育の推進	B	継続	19
		③特別支援教育の充実	B	継続	20
		④幼保小中連携の推進	B	継続	21
		⑤県立学校との連携の推進	B	継続	22
		⑥部活動地域移行についての検討	B	拡大継続	23
	(5) 教職員の資質向上	①教職員の人材育成	B	継続	24
		②教職員の服務管理の徹底	B	継続	25
		③学校における働き方改革の推進	B	継続	26
	(6) 学校教育環境の充実	①学校運営協議会の活動推進	B	拡大継続	27
		②就学支援制度の充実	B	継続	28
		③学校施設・設備の充実	B	継続	30
		④遠距離通学児童生徒への支援	B	継続	31
⑤学校給食の充実		A	継続	32	
⑥学校の適正規模・配置の推進		B	継続	33	

施策の分野	施策の基本方針	主な取り組み	点検・評価の結果		ページ
			事業の成果	方向性	
2 生涯学習・社会教育の充実	(1) 学習機会の提供	①各種講座等の充実	B	継続	34
		②人権教育の推進	B	継続	35
		③地域課題等に対する学習活動の推進	B	拡大継続	36
	(2) 学習活動の支援	①自治振興区における生涯学習の推進	B	継続	37
		②社会教育関係団体等の育成・支援	B	継続	38
		③生涯学習情報の収集及び発信	B	拡大継続	39
	(3) 読書環境の充実	①図書館機能の充実	A	継続	40
		②子供の読書活動の推進	A	拡大継続	41
	3 芸術・文化の推進	(1) 芸術・文化活動の推進	①芸術・文化意識の高揚	B	継続
②文化団体等の支援			B	継続	43
③芸術・文化施設の活用促進			A	継続	44
④部活動地域移行についての検討			B	拡大継続	45
(2) 文化財の保存・活用		①文化財の保護・管理の推進	B	継続	46
		②文化財の活用推進	C	継続	47
		③文化財の継承・啓発	B	継続	48
		④埋蔵文化財への対応	B	継続	49
(3) 博物館・資料館の活用		①博物館・資料館機能の充実			
		ア 庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）に基づく各種事業の推進	B	継続	50
		イ 比和自然科学博物館・地学分館の管理・運営	A	継続	51
		ウ 帝釈峡博物展示施設時悠館（帝釈峡まほろばの里含む）の管理・運営	A	継続	52
		エ 庄原市歴史民俗資料館（火野葦平と母マン資料室、西城・総領収蔵学習室含む）の管理・運営 オ 倉田百三文学館の管理・運営	B	継続	53
		カ 口和郷土資料館の管理・運営	B	継続	54
		②連携・啓発事業の展開	B	継続	55

施策の分野	施策の基本方針	主な取り組み	点検・評価の結果		ページ
			事業の成果	方向性	
4 スポーツの推進	(1)スポーツ活動の推進	①地域スポーツの推進	B	拡大継続	57
		②スポーツ団体の育成・支援	B	継続	58
		③総合型地域スポーツクラブの展開	B	継続	59
		④競技力向上・ジュニアスポーツの推進	B	継続	60
		⑤障害者スポーツへの支援	B	継続	61
	(2)スポーツ環境の充実	①社会体育施設の利用促進	B	継続	62
		②学校体育施設の活用	B	継続	63
		③学校・家庭・地域のネットワークづくり	B	継続	64
④部活動地域移行についての検討		B	拡大継続	64	
5 家庭・地域の教育力の向上	(1)教育風土の醸成	①地域社会に貢献できる人材の育成	B	継続	65
		②地域理解を深める教育活動の推進	B	継続	66
	(2)家庭・地域と一緒に取り組む教育活動	①家庭の教育力の向上	B	拡大継続	67
		②地域の教育力の向上	B	拡大継続	68
		③放課後の子供の育成	B	継続	69

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(1)確かな学力の定着・向上		
主な取り組み	①主体的に学び考える教育の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○個に即した指導の充実と学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事が各学校の校内研修に参加し、児童生徒の学力の定着に向けた授業づくりや授業と家庭学習との関連を充実させるための指導・講話を実施した。</li> <li>・広島県教育委員会実施の「小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業」指定校における校内研修に参加し、学力の定着に向けた授業づくりや個別指導体制等について指導助言を行った。</li> <li>・「庄原市『学びの変革』推進協議会(第3回3/1)」において、指定校が低学年からのつまずきを解消するための取り組みなどの研究内容を報告した。</li> </ul> <p>○主体的・対話的で深い学びに係る授業改善の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「庄原市『学びの変革』推進協議会(第1回6/23、第2回9/12、第3回3/1)」において、「本質的な問い」による授業改善及びカリキュラム・マネジメント(※)を視点にした研究授業の研修を実施した。</li> <li>・指導主事が各学校の校内研修に参加し、主体的な学び、深い学びに向けて、教科等の見方・考え方を働かせる授業づくりについての指導・講話を実施した。</li> </ul> <p>○読解力・表現力を培う教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校において、書いて表現する活動、考えたことを話し合う活動などの言語活動を設定し、判断の根拠や理由を明確にして自分の考えを表現する学習活動の充実を図った。</li> <li>・多くの児童生徒がコンクール等に応募することにより、自分の考えを表現することに取り組んでいる。詩文集「さとやま」では、第一部門(報告文・記録文)、第二部門(生活文・体験文)、第三部門(短歌・俳句・詩)、第四部門(読書感想文)への応募を呼びかけ、市内全校が積極的に参加した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○令和5年度庄原市一斉学力調査では、小学校・中学校とも各教科においてほぼ全国平均を上回り、学習内容は概ね定着している。特に、小学校国語・算数・英語、中学校国語・数学・理科では、平均で5ポイント以上全国平均正答率を上回っており、授業改善の成果が見られる。</p> <p>○令和5年度全国学力・学習状況調査では、小学校国語科及び中学校国語科では全国平均、県平均を上回り、学習内容は概ね定着している。</p> <p>○教科等の見方・考え方を意識した指導ができてきている。</p> <p>○「本質的な問い」による授業改善について、市主催研修会において、取り組みが充実している学校の授業研究の紹介や単元構想シートを用いた交流を通して各学校に意識付けを行うことができた。</p> <p>○中国新聞主催「鈴木三重吉賞」では、入賞作品が91点あり、表現する力の向上が見られる。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○令和5年度全国学力・学習状況調査の結果、小学校算数科、中学校数学科及び英語科では、県平均及び全国平均を下回っており、各学校において課題の分析、具体的な取り組みの検討を行い、授業改善を進める必要がある。</p> <p>○令和5年度庄原市一斉学力調査の結果、正答率30%未満の児童生徒が一定程度存在している。「小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業」の取り組みを他校へ広げ、個のつまずきの要因分析と組織的な手立てを行っていく必要がある。</p>			

<p>○各学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、そのつまずきの背景を分析し手立てを考えるなど、組織的な取り組みとなるよう指導していく必要がある。</p> <p>○単元を通して付けたい力の具体が明確になっていない学校もある。引き続き、校内研修や市主催研修会において研修を深めていく必要がある。</p> <p>○県教育委員会の「学びの変革」チャレンジ加配事業指定校の取り組みを進めるとともに、市主催研修会を通じて、指定校の実践を広く他校へ伝えることで、市内全校の授業改善を図る。</p>	
<b>事業の成果</b>	<b>方向性</b>
<b>B</b>	<b>拡大継続</b>

※カリキュラム・マネジメント… 学校教育に関わる様々な取り組みを、教育課程を中心に据えながら、組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくこと。具体的には、教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくること等がある。

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(1) 確かな学力の定着・向上		
<b>主な取り組み</b>	② 読書活動の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「庄原の子供はいつも今読んでいる本がかばんに入っている」を合言葉に読書活動を推進しており、朝読書をはじめ、機会を見つけて読書する習慣の定着を図っている。</li> <li>・「夢あふれる学校図書館見学会」において、庄原小学校の学校図書館見学を行い、庄原小の取り組みを広く市内外に発信した。</li> </ul> <p>○学校司書と連携した学校図書館活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書 10 名を配置し、学校図書館の環境整備、学校図書館を活用した授業づくりの推進を図った。</li> <li>・学校司書打ち合わせ会では、環境整備や読書活動推進のための取り組みの交流など、学校司書のニーズに応じた内容とした。</li> <li>・学校司書打ち合わせ会には市内図書館担当者も可能な限り参加することとし、参加できない場合も資料提供するなどして、学校と地域の図書館の連携を図った。</li> <li>・「庄原市学校図書館研修会（7/3）」において、庄原小学校の実践発表と、各校の読書活動推進に向けた実践交流を行い、各校の読書活動推進に係る取り組みの充実を図った。</li> </ul> <p>○ビブリオバトル(※1)、ブックトーク(※2)等を通じた読書活動の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校において、ビブリオバトルやブックトーク、読書祭り等を工夫して実施した。</li> <li>・詩文集「さとやま」における第四部門（読書感想文）への応募を呼びかけた。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○読書習慣が定着しつつある。（1か月に3冊以上本を読んでいる児童生徒の割合 小学校 67.5%（県平均比率プラス 15.7 ポイント）、中学校 28.8%（県平均比率プラス 4.1 ポイント））</p> <p>○学校司書を 10 名配置することにより、学校図書館の環境整備が進められている。</p> <p>○庄原小学校が「子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受けた。</p>			

<p>○学校司書や読書ボランティアだけでなく、教師や児童生徒による読み語りなどの読書活動の推進が図られてきている。</p> <p>○学校司書と連携して学校図書館を活用した授業に取り組んでいる。</p> <p>○すべての学校で「こども読書の日」に関連した読書の取り組みや行事を行っている。</p> <p>○各学校において、児童生徒によるビブリオバトルや本の紹介、学校司書や読書ボランティアと連携した読書祭りなど、工夫した取り組みが実施されている。</p>	
<b>課題・対応</b>	
<p>○学校図書館担当教諭、学校司書のさらなるスキル向上に向け、打ち合わせ会の内容、研修内容を工夫する。</p> <p>○子供の読書活動に係る学校と地域の連携推進に向け、学校司書と市立図書館担当者が合同参加の研修を定期的実施する。</p> <p>○図書標準を満たしていない学校があり、図書整備を計画的に充実させる必要がある。</p> <p>○ビブリオバトルやブックトーク等を各学校の読書活動における計画に位置付け、継続した取り組みとなるよう働きかける。</p>	
<b>事業の成果</b>	<b>方向性</b>
<b>A</b>	<b>拡大継続</b>

※1 ビブリオバトル・・・本の紹介コミュニケーションゲーム。書評合戦。

※2 ブックトーク・・・テーマに沿って何冊かの本を複数の聞き手に紹介すること。ブックトークの目的は、その本の面白さを伝えること、または聞き手にその本を読みたいという気持ちを起こさせることである。

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(1)確かな学力の定着・向上		
<b>主な取り組み</b>	③外国語教育（活動）の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○児童生徒の英語力向上に向けた指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第1回外国語教育研修会（7/7）」は、中学校の研究授業を通して、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に向けた外国語科の授業づくりについて研究を深めた。</li> <li>・「第2回外国語教育研修会（11/9）」は、小学校の研究授業を通して、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に向けた外国語科の授業づくりについて、小中連携を軸において協議・演習を行った。</li> <li>・小学校教諭を対象に、授業で活用できるクラスルームイングリッシュ等について学ぶ講座「Talk!Talk!Talk!」を年間7回実施し、延べ25名の小学校教諭が参加した。</li> </ul> <p>○外国語に対する学習意欲を高める取り組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄原市英語検定料補助金について各中学校に周知し、74名、合計230.4千円の補助金を交付した。</li> </ul>			

- ・令和5年度は、「中学生による英語スピーチ大会 (6/18)」と「イングリッシュ・キャンプ (8/7)」を実施し、「中学生による英語スピーチ大会」には15名、「イングリッシュ・キャンプ」には16名の生徒が参加した。
- ・希望する学校へALTを複数名配置する「ALT複数配置」を小学校4校、中学校3校で実施した。
- コミュニケーションの目的や場面を明確にした言語活動の充実
- ・各学校の授業において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を明確に設定し、その設定を児童生徒が理解した上で、外国語で表現し合う活動の充実を図った。

**成果・効果**

- 学習指導要領やICTの効果的な活用を踏まえた指導の在り方について研修を深めることができ、外国語教育の充実につながっている。
- 外国語教育推進のためのALT複数配置等により、児童生徒の英語学習や異文化理解、他者とのコミュニケーションへの意欲向上へとつながった。
- 「英語スピーチ大会」や「イングリッシュ・キャンプ」を実施し、生徒が学習したことを実践する機会を設けることで、外国語に対する学習意欲の向上につながっている。(イングリッシュ・キャンプ参加者アンケート結果において、「もっと英語を聞いたり、話したりしたいと思った」、「イングリッシュ・キャンプや英語のイベントにまた参加したい」との肯定的回答ともに100%)

**課題・対応**

- 言語活動及び言語活動を通じた指導の充実や小・中学校の接続を重視し、学びの連続性を意識した指導の充実を図る必要がある。
- 市内中学校第3学年生徒の50%以上が3級以上を取得できるよう、英語検定補助金制度の周知を繰り返し行い、利用率を上げる。
- 児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、イングリッシュ・キャンプや外国語教育推進のためのALT複数配置等、学習したことを実践する機会を確保していく。
- 庄原中学校が県指定を受けている「学びの変革」チャレンジ加配事業や「『英語で教室から世界とつながる』プラットフォーム事業」の取り組みの成果を市内小中学校に周知し、市内児童生徒の英語学力と学習意欲の向上を図る。

事業の成果	方向性
<b>B</b>	<b>拡大継続</b>

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(2)豊かな人間性の育成		
主な取り組み	①道徳教育の充実		
取り組み・実績			
<p>○「特別の教科 道徳」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第1回庄原市道徳教育推進委員会研修会(6/30)」において、道徳教育推進教師の役割、道徳科における評価などについて研修を実施した。</li> <li>・「第2回庄原市道徳教育推進委員会研修会(1/31)」において、実際の授業を通して、道徳教育の充実を図るための講話・演習を実施した。</li> <li>・市主催研修会では、研修内容に校内研修で活用できる演習を取り入れ、各学校の道徳教育推進教師の取り組みの参考となるよう支援した。</li> <li>・各学校において道徳教育に係る研修を積極的に実施するよう、校長会議を通して研修の依頼を行った。</li> </ul>			
成果・効果			
<p>○研修において、評価における留意すべき事項について周知するとともに、研修資料を提供することで、道徳教育推進教師が各学校で研修の還元を行うことができた。</p> <p>○中学校の授業参観を通して、「考え、議論する道徳」となる授業づくりについて協議を行った。「深い学びの鍵はどこか」というキーワードを基に協議することで、指導観や授業観の向上を図った。</p>			
課題・対応			
<p>○各学校の評価の実情が十分把握できていない。</p> <p>○児童生徒が「考え、議論」し、道徳的価値を深める意見交流を行う授業を行うために、引き続き授業づくりについて研修を深める必要がある。</p> <p>○道徳推進教師の機能化に向け、担当としての年間の活動計画を作成した。取り組みの充実を図るため、継続して活動計画の作成や見直しを進めていく。</p> <p>○教科や行事等、様々な機会と関連させたカリキュラム・マネジメントの視点での授業づくりについて指導を継続していく。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(2)豊かな人間性の育成		
<b>主な取り組み</b>	②生徒指導の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○生徒指導上の諸問題への取り組みに向けた組織体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導主事等としての役割を理解し、組織的・継続的な取り組みができる生徒指導体制の確立を図るとともに、生徒指導主事等としての資質・能力の向上を図ることを目的に、庄原市生徒指導主事等研修会（7/13）を実施した。また、本研修会において、令和4年度いじめ問題理解基幹研修を受講した生徒指導主事より、研修の報告とその後の取り組みの実践発表を行い、各学校の参考とした。</li> <li>・「庄原市学校・警察連絡協議会（12/7）を実施し、庄原警察署や北部こども家庭センターを中心とした関連機関との連携、暴力行為に係る事例検討などを通して研修を深めた。</li> <li>・定例校長会議において、生徒指導体制の確立に係る指導助言を行った。</li> <li>・生徒指導サポート実践校への訪問指導を定期的に行った。</li> <li>・状況に応じて学校へ行き、生徒指導上の課題や不登校児童生徒の対応について、指導・助言を行った。</li> <li>・いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向けた取り組みとして、各学校で学期に1回以上のいじめアンケートを実施した。</li> <li>・学校教育専門員、教育交流教室「つばさ」指導員と連携し、不登校及び不登校傾向の児童生徒に係る対応・支援を行った。</li> <li>・スクールカウンセラーの活用により、児童生徒及び保護者、教職員からの教育相談体制の充実や、専門的な視野からの児童生徒の実態把握を図った。</li> <li>・定期的にスクールソーシャルワーカーと面談を行い、気になる児童生徒の状況を把握するとともに、児童生徒及び保護者への対応を行った。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○学校教育専門員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等による教職員及び不登校及び不登校傾向の児童生徒への指導・支援により、個に応じた指導や教育相談体制が改善されている。</p> <p>○定例校長会議や学校訪問指導を通して、各学校の生徒指導規程に基づいた指導等について助言することにより、組織的な生徒指導体制の確立を図った。</p> <p>○各学校が積極的にいじめを認知することにより、早期対応、解決につながるとともに、安全・安心な学校風土の構築に努めている。</p> <p>○生徒指導の実践上の視点である、自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な学校風土の醸成を意識した授業改善が進みつつある。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○暴力行為が増加した要因として、児童生徒が感情や行動のコントロールができていないことが挙げられる。引き続き、社会で許されないことは学校でも許されないといった毅然とした指導と特別支援教育の視点を踏まえた指導が必要である。</p> <p>○教職員の意識をより高めるために、継続していじめや不登校の未然防止の取り組みについて、研修を行う。</p>			

<p>○不登校児童生徒数は増加傾向にあり、不登校児童生徒に対して ICT を活用する、各校において別室を設けるなど、学習する機会と場を個々の実態に応じて提供していく。</p> <p>○不登校の主な要因として、怠学傾向や対人関係の問題、家庭の教育力、学力の問題が挙げられる。保護者及び関係機関との連携により、段階的・継続的な学校復帰に向けた支援が必要である。また、新たな不登校児童生徒を生まない、予防的な取り組みが必要である。</p>	
<b>事業の成果</b>	<b>方向性</b>
<b>B</b>	<b>継 続</b>

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(2)豊かな人間性の育成		
<b>主な取り組み</b>	③体験活動の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○豊かな人間性や社会性の育成に向けた自然・生活体験活動の充実</p> <p>・「山・海・島」体験活動について、小学校全校は計画どおり2泊3日で実施した。</p>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○各学校とも、体験を通して育成したい力やねらいを明確にした取り組みを行い、多くの学校で、児童の主体性や協調性などの向上が見られた。</p> <p>○各学校とも、事後指導においても日常生活と関連付けた取り組みを行っている。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○体験活動中における熱中症対策をはじめ、児童の健康面・安全面にも配慮した工夫を検討し、実施していく必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>	<b>方向性</b>		
<b>B</b>	<b>継 続</b>		

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(2)豊かな人間性の育成		
<b>主な取り組み</b>	④芸術教育の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○感性を高め、豊かな情操を養う芸術・文化活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症により令和2年度より中止としていた「中学校合唱コンクール」を、4年ぶりに実施した。</li> <li>・総合的な学習の時間等で郷土文化を学習し、体育祭や文化祭の場で発表した学校があった。</li> <li>・地域の伝統文化である太鼓や田楽を学習し、運動会で発表した学校があった。</li> <li>・弦楽四重奏の演奏を聴く芸術鑑賞会を開催した学校があった。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○4年ぶりの「中学校合唱コンクール」の開催であった。アンケートの結果では、90%以上の生徒が肯定的な評価をしており、生徒の達成感や連帯感の向上につながったと考える。</p> <p>○感染症等により、急遽参加できなかった学校があったが、文化祭当日の映像を流すなど、工夫しながら取り組むことができた。</p> <p>○地域の方をゲストティーチャー(※)として招き、太鼓や田楽、音頭など地域の伝統文化を学習・継承する取り組みを行っている学校がある。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○「中学校合唱コンクール」について、生徒数の減少や男女の人数のバランスなどにより、合唱が難しい学校もある。課題曲や自由曲の選曲について、一層の検討が必要である。</p> <p>○本市では児童生徒が伝統や文化に触れる機会が多い。これらの体験を活用して、児童生徒が感性や表現する力を高める指導の工夫が必要である。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>継 続</b>	

※ゲストティーチャー… 指導者として特別に学校に招いた一般の人々のこと。

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(3)健康・体力の保持・増進		
<b>主な取り組み</b>	①心身の健康保持増進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○家庭と連携したアウトメディア(※)等の取り組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「庄原市学校・警察連絡協議会(12/7)」を実施し、庄原市における少年非行の現状と課題について、警察が講話を行った。</li> </ul> <p>○喫煙・飲酒・薬物乱用防止等の取り組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用防止等に関わり、学校が学校薬剤師、外部団体等と連携したり、デジタル機器を活用したりして、児童生徒の実態に応じた指導を行った。</li> <li>・庄原市歯科衛生連絡協議会の事業として、希望した小中学校に歯みがき指導を実施した。また緊急時の対応のため、庄原市学校保健会では気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫の基本的な実技を行える蘇生法教育簡易モデルを購入し、各校での活用を推進した。</li> </ul> <p>○感染症対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策は令和5年5月以降5類感染症に移行したが、新型コロナウイルス感染症に限らず、感染症対策と教育活動の両立を図るため、国や県からの最新の情報収集を行い、本市の対応について学校へ迅速に周知し、適切な対応に努めた。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○庄原市学校・警察連絡協議会は、少年非行やスマートフォン等の現状について知る機会となり、小中高等学校が連携した取り組みの充実につながっている。</p> <p>○SNS等を中心としたトラブルについて、警察と連携しながら取り組むことができた。</p> <p>○歯科衛生連絡協議会において、学校歯科医、歯科衛生士、行政担当者等が取り組みや感染症対策等の課題について協議する場があり、実態に応じた取り組みが進められている。</p> <p>○国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策に係る物品を購入して各学校へ配付した。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○令和5年度広島県児童生徒学習意識等調査では、児童の31.4%、生徒の29.3%が、平日テレビやゲームをみる時間が3時間以上と答えている。メディア利用について、家庭も含めた啓発が必要である。</p> <p>○スマートフォン等の利用について、継続した啓発が必要である。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も、コロナ禍で歯みがき指導の充実が難しい実態があったため、感染症対策と教育活動を両立させながら、今後も歯科衛生指導の充実に向けた取り組みを継続する必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>継続</b>	

※アウトメディア… 電子メディア(テレビ、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなど)を使わない時間をつくること。

<b>学校教育</b>
-------------

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(3)健康・体力の保持・増進		
<b>主な取り組み</b>	②安全教育の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○危機管理意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理、安全教育の充実に向けて、定例校長会議で周知を図ったり、時期に合わせた市教委独自の通知を送付したりした。</li> <li>・各学校において、交通安全教室や防犯教室、避難訓練などを実施し、日常生活において、危険を予測し回避するための指導を行った。</li> <li>・学校安全相談員が学校における不審者対応訓練に参加し、教職員へ不審者対応について助言した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○安全教育に係る通知は、定例校長会議でも再度周知し、安全教育の推進を図っている。</p> <p>○各学校で工夫しながら安全教育への取り組みが進められた。</p> <p>○学校安全相談員が不審者対応訓練に参加し、元警察官としての立場から不審者への対応の仕方や学校での死角となりやすい危険な箇所等について助言することで、学校における不審者対応の体制や環境整備が進んだ。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○県からの通知だけでは、中山間地域の実情に合わない内容もあるため、積雪時の登下校や学校生活における安全確保についてなど、地域実態に即した通知を今後も独自に作成し、発出していく必要がある。</p> <p>○自転車乗車時のヘルメットの着用が努力義務となったことにより、交通安全教室等で再度周知していく必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>継続</b>	

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(3)健康・体力の保持・増進		
主な取り組み	③食育の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○望ましい食習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校において、食に関する指導の全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的に食育に取り組んだ。</li> <li>・各学校において、食に関する実態調査、食事のマナー学習を実施した。</li> <li>・小学校10校、中学校4校が「弁当の日」を設定し、児童生徒が自分で弁当作りを行った。</li> <li>・イノシシ肉を使用した学校給食の提供や、関係職員による食育朝会や授業を通じ、有害鳥獣を食肉として活用することで農業を守っていること、命をいただくことへの感謝（命の循環）などへの理解を深めた。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○食に関する実態調査の結果、「栄養バランスの大切さ」「食事マナーの大切さ」を理解していると回答した児童生徒の割合がそれぞれ98%、96%、「バランスの良い朝食をとる大切さ」を理解していると回答した児童生徒の割合は95%であったことから、食に対する関心は高い水準を維持している。</p> <p>○「弁当の日」の取り組みの一環として、弁当の写真を掲載した食育カレンダーを毎年作成している学校もある。</p> <p>○永末小学校は、これまで食育の推進に取り組んできた成果が認められ、「広島県食育推進功労者賞」を受賞した。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○令和6年度は食育研修会を実施し、各学校の教職員が、栄養教諭の取り組みや食育の実践について参考にできるよう、県内の動向等についても周知する。</p> <p>○弁当づくりの取り組みは、引き続き全校での実践を働きかける。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継 続	

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(3)健康・体力の保持・増進		
<b>主な取り組み</b>	④体力づくりの充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○体力・運動能力の向上を図る組織的取り組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第28回庄原市小学校陸上競技記録会(6/17)」及び「第58回庄原市少年少女水泳記録会(7/28)」を開催した。昨年度まで行っていた対象学年や出場種目等の参加制限を行わず実施することができた。</li> <li>・「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和5年度広島県児童生徒の体力・運動能力調査」を実施し、市の経年の推移とともに、体力における重点となる課題を示した。</li> <li>・「庄原市体力づくり研修会(11/15)」を実施し、庄原市の体力の現状や課題について、各小中学校の体力づくり推進リーダーが協議した。また、運動が好きな児童生徒の育成を目指すための取り組み等についても演習を通して周知した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○庄原市で開催された陸上記録会へは208名、水泳記録会は53名、広島県民スポーツ大会へは35名の児童が参加した。市内全ての小学校から参加があり、体力向上に向けた取り組みのきっかけとなった。</p> <p>○研修会において、市の現状課題である「走力」に関する協議を実施し、各校での指導の参考となった。</p> <p>○令和5年度全国体力・運動能力調査では、小学校5年生男子は8種目中7種目、女子は全種目で全国平均を上回った。また、中学2年生男子はすべての種目で、女子は8種目中7種目で全国平均を上回った。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○「広島県児童生徒の体力・運動能力調査」では全学年における調査は実施されないが、市全体の実態把握として小中学校全学年の「体力・運動能力調査」を実施し、本市児童生徒の実態を継続的に把握する。</p> <p>○記録会への参加者を増やすため、対象学年や出場競技等の検討を行い、積極的な参加を促す。</p> <p>○各学校においての体力の課題を把握・分析し、研修会時に各校の実践を交流する。</p> <p>○児童生徒が「運動が好き」と感じられるよう、リズムトレーニング(※)等の要素を授業に取り入れ、具体的に交流する。</p> <p>○部活動の地域移行について検討会を設置し、協議を進めている。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>A</b>		<b>継 続</b>	

※リズムトレーニング… リズム感を高めることで、運動能力を向上させるトレーニング。

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(4)今日の課題への対応		
主な取り組み	①情報化に対応した教育の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○情報活用能力の向上と情報モラル教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第1回庄原市情報教育研修会(5/30)」において、ICT活用に係る本市の実態及び効果的な活用について講話・交流・演習を行った。</li> <li>・「第2回庄原市情報教育研修会(8/23)」において、タブレット端末の効果的な活用及び教師が身につけるべき情報セキュリティについて講話・演習を行った。</li> <li>・「第3回庄原市情報教育研修会(2/20)」において、Sky Menu Cloudの活用についての紹介、児童生徒の情報活用能力の育成に向けた取り組みについて交流・演習を行った。</li> <li>・ICT活用推進リーダー3名とパネルディスカッション形式で各校のタブレット端末活用推進に向けての取り組みや意見の交流を行った。</li> <li>・全国学力・学習状況調査 中学校英語「話すこと」調査、児童・生徒質問紙調査において、CBT(パソコンを使った回答方法)により実施した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○学期ごとに、タブレット端末の利活用状況についてアンケートを実施した。利活用状況を把握したうえで、研修内容を計画することができた。</p> <p>○インターネット接続の難しさについて、関係課と連携し対応することで、インターネット環境を改善した。</p> <p>○市に導入しているソフトの業者に、研修に参加していただくことで、業者と学校の担当者がつながり、業者と連携した校内研修を実施することができた。</p> <p>○保護者連携ツールを取り入れ、ICTを活用した家庭連携を進めた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○情報セキュリティや情報モラルは、今日的な大きな課題である。道徳科や他の教育活動の年間指導計画に位置付けて、確実に指導するよう工夫する必要がある。</p> <p>○タブレット端末の活用実践は増えているが、効果的な活用、とりわけ、協働的な学習場面での利活用の意識の向上が必要である。今後、効果的な授業実践に向けて、授業提案を行い、授業改善を進めていく。</p> <p>○今後、ICTの利用が進む中、学校間・指導者間の力量の違いが広がってくることが考えられる。児童生徒の情報活用能力育成に向け、ICTの利用方法や効果的な活用についての研修を充実させる。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(4)今日の課題への対応		
主な取り組み	②社会的自立に向けた教育の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○幼保小中高等学校の連携による系統的なキャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育・教育の円滑な接続を目指し、庄原市幼保小連携推進協議会を年間3回、小学校区ごとのブロック協議会を年3回以上開催した。</li> <li>・中学校教員による小学生への授業などを通して、小中学校間の連携を図った。</li> <li>・中学校による職場体験学習は、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、昨年度以上の規模で実施した。</li> <li>・庄原中学校区で県の指定事業を受け、中学校区で育成したい資質・能力の育成や児童生徒のキャリア発達に向けて、外部機関による出前授業など、共通的に取り組みを進めた。また、この取り組みを市内全校へ普及させるために、市主催研修会等で発表した。</li> </ul> <p>○日常生活や社会と関連付けた探究的な学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校が育成したい資質・能力を設定し、その育成に向けて、総合的な学習の時間を中心に、学習内容の充実を図っている。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○研修会での幼保小職員間の協議や、ブロック協議会での園所校の相互参観を通して、幼児期及び児童期の子供の様子を共有し、子供の学びや発達について理解を深めた。</p> <p>○キャリア教育推進地域である庄原中学校区を中心に、小中が連携したキャリア教育の充実が図られている。</p> <p>○各学校の実態や地域の特色を踏まえた探究的な学習の実践が行われ、児童生徒の資質・能力の育成が図られている。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○児童の発達に即した円滑な幼保小接続となるよう、さらなるスタートカリキュラム(※)の改善を進める必要がある。</p> <p>○市内全校において系統的なキャリア教育の充実が進むよう、庄原中学校区の取り組みを市内全校に普及させる必要がある。</p> <p>○市内全校において、今後一層、学校が地域社会等と連携し、児童生徒が広く他者と協働し主体的に取り組むことができる探究活動を実施する必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>継 続</b>	

※スタートカリキュラム・・・ 小学校に入学した子供が、保育所などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム。

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(4)今日の課題への対応		
<b>主な取り組み</b>	③特別支援教育の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○個に即した組織的な指導・支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに「特別支援教育支援員研修会（4/4）」を実施し、サービスや役割など基礎的な内容を周知するとともに、具体的な支援の在り方について交流した。</li> <li>・「特別支援教育研修会（第1回5/26、第2回10/11）」において、適正な教育課程の実施、幼保小中や関係機関等との組織的・計画的な連携や支援体制の構築を柱とした講話や、特別な支援を必要とする児童生徒へのアセスメントに関わる講話等を行った。</li> </ul> <p>○就学前からの連携による教育相談の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「庄原市就学指導委員会（第1回8/25、第2回10/5、第3回11/2）」を開催し、児童生徒の適切な就学につなげた。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○研修会や各学校における校内研修の実施を通して、教職員の特別支援教育への理解が図られてきている。</p> <p>○特別支援教育の視点をもった幼保小中の連携・接続が必要であることについて、教職員の理解が深まった。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○支援を必要とする児童生徒が年々増加しており、児童生徒のアセスメント等についての教職員の専門性の向上とともに、幼保小中の連携や支援体制の確立が一層求められている。特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な取り組みについて指導していく。</p> <p>○適切な就学に向けて、幼保小中や関係機関等との連携を綿密に行い、連携の内容も充実させる。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>継 続</b>	

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(4)今日の課題への対応		
主な取り組み	④幼保小中連携の推進		
取り組み・実績			
<p>○学びの系統性・連続性がある教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校において、入学直後の第1学年児童に対して幼児期の教育との円滑な接続を図るスタートカリキュラムを工夫して実施した。</li> <li>・「幼保小連携協議会(8/9)」において、広島大学七木田敦教授を招へいし、特別な支援を必要とする幼児児童のための幼保小連携についての理論研修を行った。</li> <li>・「幼保小連携・接続に係る研修会(11/8)」を実施し、東小学校でのスタートカリキュラムの実践発表を行うとともに、広島大学朝倉淳名誉教授を招へいし、幼児教育への理解促進と幼保小連携・接続の充実に向けた取り組みの推進を図った。</li> </ul>			
成果・効果			
<p>○各小学校がスタートカリキュラムの実施・改善に取り組むことができた。</p> <p>○効果的な取り組みや好事例を共有することで、各ブロックの連携の取り組みが進んだ。</p> <p>○児童福祉課と連携して合同研修会を実施したことで、参加者が幼児教育への理解を深めるとともに、幼保小連携の意義について理解することができた。</p>			
課題・対応			
<p>○小学校入学後の登校渋りの解消、特別な配慮を必要とする児童への支援の充実に向け、一層の幼保小の連携や接続カリキュラムの充実が必要である。</p> <p>○今後は特に、スタートカリキュラムの更なる充実と、特別な配慮を必要とする児童に係る幼保小連携の実践的な取り組みの推進、保護者の理解促進に向けた取り組みを行う。幼児期の子供をもつ保護者が保育と教育のつながりについて理解することで、小学校入学前の安心につなげる。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課
施策の基本方針	(4)今日の課題への対応		
主な取り組み	⑤県立学校との連携の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○市内県立学校の教育活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小規模県立高校（庄原格致高等学校、西城紫水高等学校、東城高等学校）を支援する団体に教育振興補助金を交付し、高等学校の存続に向けた学校の活性化、魅力ある学校づくり及び学力向上の活動に対し支援を行った。 市補助金：850千円×3校、2,550千円</li> <li>東城高等学校活性化地域協議会及び西城紫水高等学校活性化プロジェクトチーム会議に参画し、活性化策の検討を行った。 東城高校：5回　西城紫水高校：5回</li> <li>教育振興補助金制度は3年ごとに見直しを行うこととしており、令和5年度末に終期を迎えることから、対象校3校の校長へのヒアリングや、取り組み状況及び効果などを検証、制度の見直しを検討した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○各学校では、学習塾との連携や部活動指導者の確保など教育内容の充実を行っている。また、オープンスクール開催等による新入生確保や地域と連携した広報活動など、魅力ある学校づくりへの取り組みを行っており、卒業後の進路や入学者の確保に一定の成果が得られている。</p> <p>○令和5年度において、西城紫水高校では2年連続、東城高校では3年連続で80人を下回ったが、令和6年3月に広島県教育委員会が示した「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画（第2期）」において、再編整備基準が「2年連続して新入学生徒数が20人未満又は全校生徒数が60人未満」へと緩和されたため、今後、新たな基準を達成することを目指して、引き続き取り組むこととなった。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○本補助制度を活用して、長期的・戦略的視点で、これまで各校が創意工夫し、取り組んできており、こうした魅力ある学校づくりの継続が、該当の高校存進学に向けた支援につながると認められる。しかし、少子化の進行や進路の選択肢（中高一貫校、通信制高校など）が以前と比べて多様化しており、入学者の確保がますます困難となっている。引き続き、全校生徒数が80人を下回っている西城紫水高校及び東城高校の学校活性化地域協議会に参画する。</p> <p>○本補助制度について、令和5年度にこれまでの検証と見直しを行い、令和6年度から令和8年度まで現行制度を延長するとともに、入学者数が減少している庄原実業高等学校も新たに補助対象に加えた。引き続き、学校の魅力づくり活動等を支援していく。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継 続	

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(4) 今日的課題への対応		
<b>主な取り組み</b>	⑥部活動地域移行についての検討		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○部活動地域移行に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の地域移行に向け、市内スポーツ関係団体代表、文化活動関係団体代表、学校長代表等による、庄原市立中学校部活動検討会を設置した。</li> <li>・庄原市立中学校部活動検討会を3回(6/21、8/31、12/25)開催し、全国的な動向、県内他市町の状況の共有とともに、庄原市としての部活動地域移行の在り方や方向性について協議した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○小学校第5・6学年とその保護者、中学校第1・2学年とその保護者、中学校の教職員を対象とした部活動に関するアンケートを実施し、児童生徒が希望する部活動や保護者の要望、教職員の部活動に対する考え方などの実態を把握することができた。</p> <p>○庄原市立中学校部活動検討会において、市内児童生徒等のアンケートや市内のスポーツ、文化活動の状況を踏まえ、様々な立場の観点から令和6年度以降の本市の方向性等の検討を行うことができた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○児童生徒や保護者、教職員へのアンケート結果を踏まえ、指導者の確保、拠点となる施設の選定等、様々な課題について解決策を練りながら試行対応も含め順次進めていく。</p> <p>○市内のスポーツ少年団等のスポーツ関係団体及び、文化協会等の文化関係団体の指導者と連携を深める必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>拡大継続</b>	

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(5)教職員の資質向上		
主な取り組み	①教職員の人材育成		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○学び続ける教職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会を実施し、教職員の授業力や専門性を高め、人間性を磨く研修の充実を図った。</li> <li>・チューター制度(※)や若年層教職員への訪問等、経験年数に応じた研修を計画的に実施した。</li> <li>・ふるさと庄原のことを積極的に学ぶ教職員の育成を図った。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○市主催研修会は予定どおり行った。</p> <p>○各学校が、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に取り組んでいる。</p> <p>○若年層職員への指導を広島県北部教育事務所と連携して実施したことで、県教育委員会との円滑な情報共有ができた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○オンデマンド型研修会やオンラインによる研修会など、研修方法や場所の工夫を行い、研修内容を充実させる。</p> <p>○若年層の教職員が増えていることから、各学校がめざす授業の具体的なイメージをもつことができるよう、指導主事による指導内容及び方法を工夫する。</p> <p>○若年層の教職員に対する訪問等では、より効果の高い訪問指導となるよう、教科や業務内容に配慮した訪問者の調整を図る。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>継 続</b>	

※チューター制度・・・ 新規採用職員に対して、授業づくりや学級経営等の悩みや相談に応じ、きめ細かい支援を実施する制度。

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(5)教職員の資質向上		
主な取り組み	②教職員の服務管理の徹底		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○教職員の不祥事防止に向けた自覚の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属長への聞き取りや、学校訪問指導を通して、個々の教職員の実態把握を行った。特に初任者、若年層、他市町からの異動者の状況については継続的に把握し、指導を行った。</li> <li>・定例校長会議等の機会を捉え、教職員の懲戒処分や交通事故、交通違反の状況について伝え、不祥事根絶に向けた指導を行った。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○不祥事根絶に向けた教職員の意識の醸成を図るよう、定例校長会議で指導を行っており、各校における不祥事防止研修の充実につながっている。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○県内の不祥事案を通知および校長会議において周知し、引き続き、自らも過ちを犯し得る存在であることを自覚し、不祥事に係る意識を更に高めるための研修の充実や指導を継続する。</p> <p>○交通事故・交通違反件数は、増加傾向にある。校長会議において、市内の交通事故・交通違反を示すことで、公務員としての自覚を促し、交通安全意識と交通マナーの向上を図る指導を継続する。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(5)教職員の資質向上		
主な取り組み	③学校における働き方改革の推進		
取り組み・実績			
<p>○管理職を中心とした組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育委員会として、働き方改革に係る研修や校長面談の実施、学校訪問による各校の取り組みや実態の把握、夏季・冬季一斉閉庁の実施、教職員のストレスチェック実施、教職員個々の在校等時間の実態把握などを実施した。</li> <li>・各学校においては、計画的・効率的な業務遂行に向けた取り組み、週1日の定時退校日の取り組み、週2日の部活動休養日の設定、週休日出勤の縮減、日課の見直し、学校行事等の精選などを行った。</li> <li>・各所属からの月1回の報告により、勤務時間外の在校等時間の結果を集計し、「学校における働き方改革取り組み方針」に基づいた指導・助言を行い、各学校における業務改善を進めた。</li> <li>・スクールサポートスタッフを複数校に配置し、教務事務の支援を行った。</li> </ul>			
成果・効果			
<p>○各学校では教職員の意見を取り入れながら業務改善に向けて取り組みを進めることができている。</p> <p>○各学校の勤務時間外の在校等時間を把握することで、具体的な指導・助言を行うことができている。</p>			
課題・対応			
<p>○勤務時間外の在校等時間が長い教職員に対しては、管理職との面談を実施し、計画的・効率的な職務遂行ができるよう継続して指導を行う。</p> <p>○管理職及び教職員の意識向上を図り、働き方改革に積極的に取り組む風土を醸成する。</p>			
事業の成果		方向性	
B		継 続	

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(6)学校教育環境の充実		
<b>主な取り組み</b>	①学校運営協議会の活動推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○学校運営の改善を図る意見や学校評価の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校において、学校運営協議会や学校保健委員会などを開催し、外部からの意見、評価を基に、教育活動の充実に向けて協議した。</li> </ul> <p>○学校運営協議会制度の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度から学校運営協議会制度を全校に導入し、各校において、年3回運営協議会を開催し、学校の経営方針や目指す子供像の共有、目指す子供像の実現に向けた取り組みの熟議を行った。</li> <li>・学校の取り組みや学校評価を報告するとともに、教育活動の充実に向けて協議した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○各学校では、学校教育目標の達成状況を学校評価や学校関係者評価で検証し、各委員会での意見や評価を学校運営に活用している。</p> <p>○学校運営協議会の設置により、該当校の学校運営に対して保護者及び地域住民の理解、協力、参画が促進された。</p> <p>○本市における先進的な取り組み内容を、教頭・事務長研修会や定例校長会議の場で紹介することで、管理職の制度等に対する理解を深めた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○学校運営協議会における協議が、委員からの意見交流のみにとどまり、従前の学校評議員会、学校関係者評価委員会と変わらない学校があり、目指す子供像の実現に向けた議論を充実させる必要がある。そのため、教職員や地域等が制度等に対する理解をさらに深めるよう、学校運営協議会についての研修会への積極的参加を促す等、取り組みを行う。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>拡大継続</b>	

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育総務課・教育指導課
<b>施策の基本方針</b>	(6)学校教育環境の充実		
<b>主な取り組み</b>	②就学支援制度の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○私立幼稚園支援事業の実施</p> <p>私立幼稚園等の利用者や運営者に対し次の負担金・補助金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設型給付費負担金（国の幼児教育無償化による保育料相当分） <span style="float: right;">35,351千円</span></li> <li>・副食費負担金(国の幼児教育無償化対象とならない部分への市独自負担分を含む) <span style="float: right;">1,800千円</span></li> <li>・入園料補助金（第2子半額、第3子以降無償） <span style="float: right;">180千円</span></li> <li>・預かり保育利用補助金（保育に対する利用料金補助） <span style="float: right;">593千円</span></li> </ul> <p>○奨学金貸付制度の充実</p> <p>学習に意欲がありながら、経済的な理由などにより高等学校等へ修学が困難な者に対し庄原市奨学金を貸し付けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付実績 9,533千円 貸付者数23人（新規：7人、継続：16人）</li> <li>・返還実績 25,110千円（現年分：24,665千円、過年度繰越分：445千円） 返還対象者169人</li> </ul> <p>○入学祝金の支給</p> <p>本市在住の新小学1年生、新中学1年生を対象に入学祝金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校：198人、中学校：224人 合計422人×30千円＝12,660千円</li> </ul> <p>○就学援助費支給制度による経済的支援の推進</p> <p>就学継続が困難で経済的支援を必要とする児童生徒の保護者に、就学援助費を支給した。</p>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○幼稚園利用者に対して、国の幼児教育無償化による施設型給付費等の負担金、預かり保育利用補助金及び市独自の副食費負担金・入園料補助金を交付し、経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>○奨学金の貸付により、進学や経済状況の変化に伴う家計負担軽減に寄与し、奨学生の修学を支援した。</p> <p>○入学祝金支給により、入学を祝福し児童・生徒の健全な育成を支援した。</p> <p>○就学援助費を支給することにより、他の児童生徒との経済的理由による教育的格差の解消に努めた。</p>			

課題・対応	
<p>○私立幼稚園利用者及び運営者に対し、継続して補助金及び負担金を交付することにより、運営を支援し、保護者の経済的負担軽減を図る。</p> <p>○奨学金返還金の収納対策において、新規返還者への指導・啓発や口座振替による返還などを行い、滞納防止に努める。また、滞納月・額が増加している者に対しては、本人または家族等への連絡や訪問等により、長期滞納防止に努める。</p> <p>○入学祝金は、支給日までの事務期間が短いため、効率的な事務処理が求められる。市内住民登録者で市外の小中学校に入学する場合も対象となり、これらの把握が困難なことから、関係機関との連携や情報収集が重要である。</p>	
事業の成果	方向性
<b>B</b>	<b>継 続</b>

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課
施策の基本方針	(6)学校教育環境の充実		
主な取り組み	③学校施設・設備の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○学校施設の修繕・工事の実施、学校管理備品の購入・更新</p> <p>【修繕料】 小学校計:16,079千円、中学校計:7,597千円          比和小ランチルーム屋根修繕:3,432千円、永末小屋外手洗場配管修繕:523千円 等          高野中電灯用変圧器交換修繕:1,191千円、口和中特別教室棟パッケージエアコン修繕776千円 等</p> <p>【工事請負費】 小学校計:8,374千円、中学校計:3,288千円          峰田小屋体照明LED化工事:4,070千円、比和小特別支援教室空調機設置工事:1,753千円 等          高野中多目的トイレ改修:1,100千円、比和中相談室空調機改修:1,277千円 等</p> <p>【備品購入費】 小学校計:4,787千円、中学校計:5,841千円          西城小FFファンヒーター更新:935千円、総領小給湯器更新:149千円 等          東城中移動式ステージ購入:3,296千円、比和中FFファンヒーター更新:514千円 等</p> <p>○全域的教育環境等整備事業の実施 15,696千円          屋外遊具等環境整備(小:914千円)、教室等施設環境整備(小:1,644千円/中:3,449千円)、          プール環境改善(小:1,533千円)、机・椅子等購入(小:851千円)、GIGAスクール回線増強          (小:3,050千円/中:2,460千円、教室等TV台撤去(小:637千円/中:341千円)、理科薬品処分          (小:486千円/中:331千円)</p> <p>○東小学校校舎長寿命化事業実施設計業務委託:18,708千円          ○東城中学校校舎・屋体躯体調査業務委託:4,290千円</p>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○各学校施設の老朽化等に伴う補修や修繕、改修工事の実施や学校管理備品の購入・更新により、教育環境の改善及び充実化を図った。</p> <p>○既存の学校施設のうち、市内で2番目に古い東小学校校舎の長寿命化改修工事の実実施設計業務を行い、令和6年度実施に向けて関係部署や東小学校を交え改修内容の具体化を図った。</p> <p>○GIGAスクール構想による令和6年度からのデジタル教科書本格導入に向けて、児童生徒数が100人以上の小中学校を対象にインターネット回線の増強等を行い、必要な通信速度を確保した。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○各学校施設の経年劣化に伴い、修繕が必要な箇所が多数存在している状況を踏まえ、緊急度や重要度等を測りながら計画的に事業化し、対応していく必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継 続	

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課
施策の基本方針	(6)学校教育環境の充実		
主な取り組み	④遠距離通学児童生徒への支援		
<b>取り組み・実績</b>			
○スクールバスの運行等による通学手段の確保			
【小学校】 126,553千円			
・スクールバス運行业務委託(38路線) 116,795千円			
・登下校タクシー借上料 1,802千円			
・スクールバス維持管理費等 7,956千円			
【中学校】 20,144千円			
・スクールバス運行业務委託(18路線) 19,337千円			
・登下校タクシー借上料 639千円			
・自転車用ヘルメット購入費 168千円			
○通学費援助事業の実施による保護者負担の軽減			
・小学校通学費補助事業 659千円			
・中学校通学費補助事業 16,918千円			
・中学校クラブ通学費補助事業 72千円			
○東城中学校寄宿舎の運営			
・東城中寄宿舎(定員72名:入寮4名) 7,171千円			
<b>成果・効果</b>			
○遠距離通学の児童生徒に対し、スクールバスの運行业務委託やタクシーの借上により通学手段を確保するとともに、対象児童生徒に定期券等相当額を通学費補助金として交付することにより、保護者の負担軽減を図った。			
<b>課題・対応</b>			
○生活交通対策と連携し、スクールバス等の人的輸送手段の最適化やスクールバス利用による児童生徒の体力低下等の影響を考慮した通学支援内容について、学校や保護者等と検討する必要がある。			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 学校教育

<b>施策の分野</b>	1 学校教育の充実	<b>担当課</b>	教育総務課
<b>施策の基本方針</b>	(6) 学校教育環境の充実		
<b>主な取り組み</b>	⑤ 学校給食の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
○ 学校給食施設設備の維持管理			
【修繕料】 計 10,130 千円			
庄原共調消毒保管庫修繕:438 千円、西城共調食器洗浄機修繕:1,075 千円、高野共調洗浄機コンベア修繕:575 千円 等			
【備品購入費】 計 2,822 千円			
庄原共調検収室外カーテン:292 千円、口和共調検収室冷蔵庫:438 千円、高野共調パススルー冷凍庫:715 千円 等			
○ 学校給食調理業務等の民間委託			
・ 庄原・峰田・西城・口和・高野・比和地域学校給食調理業務委託 (6 調理場) 170,485 千円			
・ 東城地域学校給食調理業務委託(1 調理場) 41,969 千円			
・ 総領地域学校給食調理配送業務委託(1 調理場) 13,565 千円			
・ 庄原地域学校給食配送業務 22,229 千円			
・ 西城地域学校給食配送業務 4,977 千円			
・ 東城地域学校給食配送業務 3,399 千円			
○ 衛生管理や異物混入対策の徹底			
○ 食物アレルギーへの対応			
○ 学校給食を活用した食育の推進			
○ 学校給食検食費負担金 1,009 千円			
○ 学校給食地元米利用補助金 141 千円			
○ 学校給食費負担軽減支援金 7,741 千円			
<b>成果・効果</b>			
○ 施設の改修及び備品等の購入により、安全で安心な給食の提供を行った。			
○ 学校給食の効率的運営を図るため、全地域で学校給食調理業務の民間企業への業務委託を実施している。			
○ 「学校給食異物混入等対応マニュアル」に基づく対応の徹底等、学校給食の衛生管理や異物混入対策の適切な実施・指導に努めた。			
○ 食物アレルギーへの対応については、保護者理解のもとで円滑に実施することができた。			
○ 学校給食の充実については、地元産食材を使用した給食の提供のほか、地域行事や季節感を感じる献立や地域の食の文化や歴史を学べるような献立など、学校給食を活用した食育の推進に努めた。			
※ 庄原産使用食料品数割合(農産物のみ) : 33.0%(令和5年度平均値)			
第2期庄原市教育振興基本計画 学校給食の地産地消率(農産物のみ) 市内産目標値 : 35.0%(R7)			
※ 広島県内産使用食料品数割合(農産物のみ) : 41.4%(令和5年度平均割合)			
第2期庄原市教育振興基本計画 学校給食の地産地消率(農産物のみ) 県内産目標値 : 40.0%(R7)			
○ 物価高騰に伴う学校給食の食材費が高騰する中、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生人事交付金を活用し、保護者に新たな負担を求めることなく、量や栄養バランスを保った学校給食を実施できた。			

課題・対応	
<p>○安全で安心な給食を提供するため、引き続き、施設・設備の維持改修を適切に行うとともに、衛生管理や異物混入防止等の指導を徹底する。</p> <p>○調理機器について計画的に修繕等を行っているものの、耐用年数を経過したものは修繕での対応が困難なものもあるため、計画的に更新していく必要がある。</p> <p>○食物アレルギー対策については、対応マニュアル等に基づく運用を行うとともに、誤食・誤飲事故を防止するため、学校や保護者等と綿密に連携を図り、常に細心の注意を払う。</p>	
事業の成果	方向性
A	継 続

## 学校教育

施策の分野	1 学校教育の充実	担当課	教育総務課
施策の基本方針	(6)学校教育環境の充実		
主な取り組み	⑥学校の適正規模・配置の推進		
取り組み・実績			
<p>○庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画（以下「基本計画」）に基づく取り組みの推進 令和4年1月に見直しをした基本計画について、令和4年3月～5月に対象校関係者への説明会を実施した。また、第1・2グループの対象校関係者と意見交換の機会を設けるよう努めるとともに、計画対象校の保護者や関係自治振興区等と学校適正配置に係る意見交換や情報提供を行った。</p>			
成果・効果			
<p>○令和4年1月の基本計画見直し内容をはじめ、将来の学校のあり方や子供の教育について、対象校の関係者等への説明や協議、情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗田小学校については、令和7年4月の東城小学校への統合について、保護者及び地域の合意を得た。</li> <li>・峰田小学校については、板橋小学校との統合について、保護者、地域との協議を重ねている。</li> </ul>			
課題・対応			
<p>○各小中学校における学級編制状況及び児童・生徒数の推移等を基に、児童や生徒に今後求められる資質や能力等と学校教育環境の充実を図る検討を行う。その際は、児童生徒当人をはじめ保護者や地域住民の思い等も十分にくみ取りながら、今後の学校の在り方についての協議を重ねていく。</p>			
事業の成果	方向性		
B	継 続		

## 生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1) 学習機会の提供		
主な取り組み	① 各種講座等の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○ 県立広島大学市民公開講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民一人ひとりの生涯学習に対する関心が高まる中で、県立広島大学の教授、准教授による講座を開催することにより、市民の学習機会を設けた。</li> <li>前期4回（延べ68人参加）、後期3回（延べ50人参加）開催した。</li> </ul> <p>○ 生涯学習事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地域の状況や課題に応じた生涯学習事業を実施した。</li> </ul> <p>○ 庄原市二十歳を祝う会の実施（旧名称：成人式）</p> <p>開催日：令和5年8月15日（火）</p> <p>会場：庄原市民会館大ホール</p> <p>内容：式典、記念行事、記念撮影</p> <p>参加者：173人（対象者276人）</p> <p>その他：中学時代に合唱コンクールで全中学校が発表した共通の課題曲を合唱した。</p>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○ 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、ほとんどの事業が通常どおり実施できるようになった。</p> <p>○ 県立広島大学との連携による市民公開講座は、市民の学習機会を提供する場となっている。</p> <p>○ 各地域において、学習成果を地域社会の中で生かしていけるような場を提供することで、市民の学習意欲の向上につながっている。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○ 県立広島大学による市民公開講座は、市民の関心の高い内容をテーマに設定し、より多くの市民に参加していただけるよう情報提供を行っていく必要がある。</p> <p>○ 生涯学習事業について、複数の自治振興区で講座を開催することも検討する必要がある。（同じ講師を招へいしていることが見受けられる。）</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)学習機会の提供		
主な取り組み	②人権教育の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○地域における人権教育学習会や講演会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学習会：自治振興区を中心に、講師（人権推進委員等）を招いて、地域学習会を開催した。</li> <li>・人権講演会、人権啓発セミナー、パネル展、人権啓発映画の上映を市内各地域で行った。</li> </ul> <p>○人権教育推進委員活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治振興区の意見を基にDVDを購入し、地域での視聴や研修会の実施となった。各担当地域において開催される学習会、研修会等に講師、補助員として参加した。</li> </ul> <p>○人権作品の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域での人権意識高揚のため、人権作品の応募を行い、最優秀作品、優秀作品については、人権作品表彰式で表彰を行った。応募総数 652 点(標語の部 647 作品・作文・詩の部 1 作品・ポスター絵画・写真詩画 4 作品)、最優秀作品、優秀作品は、人権啓発事業等に活用している。</li> </ul> <p>○啓発資料の提供・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権啓発資料として、人権啓発ビデオ2本（「いわれなき誹謗中傷との闘い スマイリーキクチと考えるインターネットにおける人権」「聲の形」）を購入し、地域学習会で活用した。（貸出申請件数：50 件）</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○自治振興区を中心とした各地域での人権学習会の開催は、市民生活課による人権啓発映画の上映、人権啓発行事等の啓発活動への参加促進とあわせて、市民への人権学習の機会となっている。</p> <p>○人権教育推進委員は現在 80 名委嘱しており、地域学習会の開催や参加促進等に関わっている。</p> <p>○庄原市企業人権啓発推進連絡協議会に資料を提供することにより、地域だけでなく、企業の人権学習会においても、人権啓発 DVD を利用されるようになった。</p> <p>○人権啓発のための作品を募集し、人権問題について考える機会を設けることで、人権意識の高揚と意識啓発を図った。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○多くの人に参加しやすい体制での人権学習会の実施を推進している。</p> <p>○様々な視点から人権について学習できるよう幅広い課題についての資料提示を行う。</p> <p>○人権作品について、他の団体からもポスター・作文の募集があるため、応募が減少している実態がある。令和6年度からは、人権標語のみの募集とする。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)学習機会の提供		
主な取り組み	③地域課題等に対する学習活動の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○地域力醸成事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自らが地域課題の解決に向けた活動に結びつけていく力を醸成するため、現代的課題や地域の課題を解決する事業について、自治振興区を中心に展開した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>7自治振興区、48事業開催、1,157人参加。</li> </ul> </li> <li>・世代間交流事業（小学生と地域住民との交流）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トウモロコシの種まき、収穫</li> <li>・サツマイモ苗植付け、収穫</li> <li>・自治振興センター前の花の植え替え</li> <li>・伝統芸能の継承 など</li> </ul> </li> <li>・その他の事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵手紙教室</li> <li>・料理教室</li> <li>・フラワーアレンジメント教室 など</li> </ul> </li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○自治振興区を中心に、他の団体等との連携や地域住民の協力を得ながら、世代間交流事業等が実施され、地域課題の解決に向けた活動につながった。</p> <p>○前年度と比較し、事業数、参加者ともに増加してきている。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○自治振興区巡回事業で、地域力醸成事業の説明を行っている。現代的課題や地域の課題を解決する事業を多くの自治振興区に取り組んでもらえるよう、事例を紹介していく。</p> <p>○自治振興区委託事業の中で、地域力醸成事業を行っている自治振興区には、地域力醸成事業に該当することを指導していくことで予算の確保につながっていく。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		拡大継続	

## 生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)学習活動の支援		
主な取り組み	①自治振興区における生涯学習の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○生涯学習委託事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各自治振興区に生涯学習事業を委託し、生涯学習活動と自治振興活動を一体的に推進することにより、各地域において、地域活動と連動し、特色を生かした生涯学習事業を実施している。(22自治振興区)平成30年度から事業評価を実施しており、自治振興区巡回事業において評価対象事業1事業を選定し、事業観察(モニタリング)を行い、実施状況の把握に努めた。</li> </ul> <p>○自治振興区職員研修会の実施及び各種研修会への参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治振興区職員の資質向上を目的に、研修会を開催した。また、各種大会、県主催の研修会や市教育委員会主催の研修会等に多くの参加があった。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○生涯学習委託事業について、昨年度までは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画しても実施できない事業があったが、今年度は計画した事業はほとんど実施することができた。</p> <p>○自治振興区職員に対し、県等が主催する研修会への参加を促進するとともに、市教育委員会主催の研修会を開催し、社会教育推進に必要な知識の習得や理解を深めた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○引き続き、生涯学習事業について事業観察を行い、実践事例集の作成につなげていく。</p> <p>○生涯学習推進のための共通した理解を基に、各地域の課題に対応した事業が展開されるよう、引き続き職員研修を実施し、自治振興区職員の能力向上を図っていく。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)学習活動の支援		
主な取り組み	②社会教育関係団体等の育成・支援		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○地域女性団体連絡協議会、子ども会連合会等の活動支援</p> <p>【庄原市地域女性団体連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画社会の実現を目指し、生活者の立場から地域コミュニティづくりを目指す庄原市地域女性団体連絡協議会の各種活動の支援を行った。(政治研修会、愛の声かけ運動等の実施)</li> </ul> <p>【庄原市子ども会連合会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供育成の指導者を養成し、青少年健全育成に寄与する庄原市子ども会連合会の各種活動の支援を行った。(奉納こども相撲、とんど、ニュースポーツ(※)体験、クリスマス会、サマーキャンプ等の実施)</li> </ul> <p>【庄原市青年団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内で開催する各種事業を通して、若者同士の交流をはじめ地域住民との相互連携を図ることを目的に活動する青年団体の支援を行った。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
○各種社会教育団体への支援により、市内社会教育団体の活動の活性化を図った。			
<b>課題・対応</b>			
<p>○各社会教育団体の実情を把握し、補助金の適切な執行や活動内容について指導・助言を行っていく必要がある。</p> <p>○高齢化などによる構成員の減少により各組織の規模が縮小傾向にあるため、支援について検討が必要である。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継 続	

※ニュースポーツ・・・誰もが気軽に参加できるスポーツの総称で、勝敗よりもスポーツを楽しむことを重視して、体力向上や地域交流の手段として、活用されている。(例)カローリング、グラウンド・ゴルフ、シャフルボード、大なわとび、ペタンクなど

## 生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)学習活動の支援		
主な取り組み	③生涯学習情報の収集及び発信		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○広報誌や市ホームページ等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治振興区より広報誌を収集し、他の自治振興区へ情報提供を行った。</li> <li>・月刊公民館の特集などの内容を各自治振興区へ紹介した。</li> </ul> <p>○全国大会出場者壮行式の様子をYouTubeで配信した。</p>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○市内の自治振興区での取り組みや、全国的な情勢等について、各自治振興区へ情報提供を行うことで、事業実施の参考となっている。</p> <p>○全国大会出場者の情報等が、多く寄せられるようになった。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○県内の公民館や全国的な事例等についての情報収集・情報提供を行うことで、事業の質の向上、市民参加の促進を図る必要がある。</p> <p>○現在は、壮行式の様子をそのままYouTubeで配信している。他の自治体の配信方法を参考にして、ニュース形式の配信なども検討する。また、壮行式以外もYouTube配信するよう取り組んでいく。</p> <p>○各団体の紹介等を行う生涯学習ハンドブックの作成を検討していく。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		拡大継続	

## 生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3) 読書環境の充実		
主な取り組み	① 図書館機能の充実		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○ 図書館資料の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 3,067冊、6,294千円（図書購入予算執行率 99.84%）計画的に購入した。</li> <li>子供の読書活動の推進を図るため、絵本及び児童図書に重点を置き選書した。</li> <li>電子図書サービスを導入し、電子図書の購入、貸出を開始した。 令和5年度 ID発行数 198件、電子図書の購入 146コンテンツ、貸出件数 1,484件、閲覧件数 3,557件</li> </ul> <p>○ 図書館サービスのための人材育成及び運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各分館へ電話等により随時支援した。</li> <li>図書館所蔵資料の有無やその配架位置について、現物する資料を確認する蔵書点検を各館において実施した。</li> </ul> <p>○ 田園文化センター改修工事により、キッズスペースの設置、学習・閲覧コーナーの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2階の多目的ホールを改修し、絵本・紙芝居を配架するキッズスペースとし、1階の絵本コーナーを学習・閲覧コーナーとした。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○ 多くの保育所、小学校等から団体貸出利用があった。90件 7,761冊</p> <p>○ インターネット予約の利便性を向上させ、インターネットで予約された図書について貸出を可能としたため、読書活動を推進できた。インターネット予約件数 2,355件</p> <p>○ 令和4年度に導入した電子図書サービスで、電子図書の購入、市内小学1年生へのIDの配付を行い、読書活動を推進できた。</p> <p>○ レファレンス業務(※)で分館との連携や支援を行うことができた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○ 引き続き、計画的な図書資料・電子図書の購入を行う。</p> <p>○ インターネット予約による貸出サービスが可能であることを引き続き周知する。</p> <p>○ 電子図書の貸出サービスについて、引き続き周知する。</p> <p>○ 計画的に研修の機会を設けるとともに、より多くの職員の参加を促す取り組みを行う。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>A</b>		<b>継続</b>	

※レファレンス業務・・・ 図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのもの、あるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することを助ける業務。

## 生涯学習

施策の分野	2 生涯学習・社会教育の充実	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3) 読書環境の充実		
主な取り組み	②子供の読書活動の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○庄原市子供の読書活動推進計画（第四次計画）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月テーマを決めて、絵本や児童書の企画展示を実施した。</li> <li>・教育指導課と連携し、子供司書の受入を行い、児童の読書活動の充実を図った。 （令和5年度受講児童数：16名）</li> </ul> <p>○赤ちゃんが絵本に触れ合う活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤ちゃんが絵本に触れ合う活動」として4か月児と1歳6か月児を対象に絵本を配付し、本との出会いの大切さを伝えるとともに、幼少期における読み語りの大切さを啓発した。</li> </ul> <p>○読書活動ボランティアの育成・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなしボランティアの研修機会を計画し、3/17に開催した。</li> <li>・読書ボランティア団体の定期のおはなし会開催を支援し、子供が読書に親しむ機会として取り組んだ。 （令和5年度開催回数：本館12回、西城13回、東城12回、口和12回、高野9回、総領31回）</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○毎月の企画展示等により、子供が本に触れ合う機会や読書する環境を整えることができた。</p> <p>○読書ボランティアと図書館職員が協力して乳幼児健診時に絵本配付を行い、多くの乳幼児が絵本に触れ合う機会を提供できた。</p> <p>○おはなし会を通して、より読書に親しむ機会をつくることができた。</p> <p>○西城地区の「ダンボのおはなし会」が、「読書活動優秀団体」として文部科学大臣表彰を受けた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○家庭での読み語りをはじめ、乳幼児期からの取り組みが重要と捉え、読書活動を推進することが必要。学校やPTAの連携で引き続きアウトメディアの取り組みを推進する。</p> <p>○第四次計画で掲げた目標に向け、子供の読書習慣の形成に向けた取り組みを実施する。</p> <p>○幼児期から小学校入学までの子供への読書機会の充実をさらに図る必要がある。</p> <p>○読書ボランティアがより充実した活動を継続できるよう、活動の機会や場を提供するとともに、読み語りのスキルアップを目的とした研修の機会を引き続き実施する。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
A		拡大継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1) 芸術・文化活動の推進		
主な取り組み	① 芸術・文化意識の高揚		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○「庄原市美術展覧会」「県美展巡回展」「文化講演会」の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄原市美術展覧会：11/19～11/26 入場者数 318 人（前年度 250 人）応募作品 106 点 令和4年度までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため前期と後期に分けて作品を展示していたが、令和5年度は全作品を一度に展示して開催した。</li> <li>・新県美展巡回展：2/28～3/3 入場者数 140 人 応募作品 13 点。</li> <li>・庄原市田園文化センターの改修工事を実施した。</li> <li>・庄原市美術展覧会及び新県美展巡回展を庄原自治振興センター多目的ホールで開催した。</li> </ul> <p>○市役所ロビーコンサートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所ロビーコンサートを毎月第4月曜日の昼休憩時（12:15～12:55）に開催するとともに、7月には夜（18:30～19:30）にも開催した。また6月と9月は、夕方（17:30～18:30）に、東城支所ホールにおいても開催した。全15公演（市役所本庁舎市民ホール13回、東城支所ホール2回）、来場者数1,474人。</li> </ul> <p>○けんみん文化祭ひろしま備北地区フェスティバル庄原大会の開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の活動・発表の場でもあり、次年度県大会の予選会でもある備北地区フェスティバル庄原大会の開催を支援し、当日は20団体が出場した。</li> </ul> <p>○本物の芸術文化に触れる機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内保育所及び小学校に「あおぞら金管合奏団」「弦楽四重奏ベルクワチュール」「ピアノデュオ」「はとか」を招へいし、園児・児童に生演奏を聴く機会を提供し、楽器への興味と音楽の楽しさ素晴らしさに触れてもらうことにより、感性を育てることを目的として、小学校6校、保育所2所でミニコンサート及びワークショップを実施した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市美展の出品作品について、市内の高等学校へ働きかけたことで、書道と写真の応募につながった。</li> <li>○市役所ロビーコンサートを開催することで、気軽に親しみやすく、くつろげる空間を市民に提供することができた。また、平曲や人形舞など従来にないジャンルの出演者を迎えることにより、来場者数の増加に寄与し、好評を博すことができた。</li> <li>○けんみん文化祭備北地区フェスティバル庄原大会の開催を支援し、本市における芸術・文化意識の高揚を図ることができた。</li> <li>○アウトリーチ事業の実施により、児童や園児に本物の芸術文化に触れる機会を提供し、幼少期から芸術文化への興味の醸成に寄与することができた。</li> </ul>			

課題・対応	
<p>○市美展において、出品作品数を増やすためには、市民の出展に係る気運を高めるなど、文化協会ほか関係団体と引き続き検討する必要がある。</p> <p>○市役所ロビーコンサートの継続にあたり、本市ゆかりの音楽活動家について情報収集が必要である。</p> <p>○過疎化や少子高齢化及び新型コロナウイルス感染症の影響により、けんみん文化祭への出場団体や出場者数がコロナ禍前と比較して減少傾向にあり、今後も継続的に支援をしていく必要がある。</p>	
事業の成果	方向性
B	継 続

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1) 芸術・文化活動の推進		
主な取り組み	②文化団体等の支援		
取り組み・実績			
<p>○庄原文化協会等の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の文化団体並びに会員相互の交流を進め、文化的な教養の充実を図るとともに、連携して市民の文化活動の振興と地域文化の高揚を図ることを目的に活動する庄原市文化協会の活動を支援した。</li> <li>・ミュージカルを通して、子供の表現力や想像力を養い、舞台芸術に触れることでこれからの文化芸術の担い手を育成するため、庄原こどもミュージカルの活動を支援した。</li> <li>・囲碁を通して市民の交流と親睦を推進し、本市の文化振興に寄与するため、庄原市合併記念第16回親善囲碁大会の開催を支援した。</li> </ul>			
成果・効果			
<p>○本市の芸術・文化活動の中心的な役割を担っている庄原市文化協会の活動を支援することで、市民の文化活動と地域文化の振興を図ることができた。</p> <p>○庄原こどもミュージカルの活動を支援することで、子供達の表現力や想像力の育成につながった。</p> <p>○庄原市合併記念第16回親善囲碁大会の開催を支援することで、市民の交流と親睦を推進するとともに、文化の振興に寄与することができた。</p>			
課題・対応			
<p>○過疎化や少子高齢化にコロナ禍の影響も加わり、各文化団体の活動への参加者が減少傾向にある。</p> <p>○より多くの市民を文化活動に巻き込むために広報等の支援を行う必要がある。</p> <p>○文化協会や関係団体と連携して、研修の情報提供や機会を増やしていく必要がある。</p>			
事業の成果	方向性		
B	継 続		

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1) 芸術・文化活動の推進		
主な取り組み	③ 芸術・文化施設の活用促進		
<b>取り組み・実績</b>			
○ 庄原市民会館・東城文化ホール等の利用促進及び管理運営			
<b>【庄原市民会館】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の文化の向上及び住民福祉の増進を図るため設置している庄原市民会館の管理運営。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日、指定管理料：42,513千円</li> <li>・ 利用件数：大ホール52件、リハーサル室405件</li> <li>・ 利用人数：大ホール19,170人、リハーサル室4,040人</li> </ul> </li> <li>・ 庄原市民会館・庄原自治振興センター大規模改修工事の完成を受け、4月1日に竣工式、5月28日に大ホールこけら落としとなる「庄原市民会館リニューアルオープン記念フェスティバル」を開催した。7月から3月にかけては、NHK「新・BS日本のうた」公開収録や「海援隊トーク&amp;ライブ2023」、「桂文枝傘寿記念落語会」など、一連の庄原市民会館リニューアルオープン記念事業を実施した。</li> </ul>			
<b>【東城文化ホール】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の文化の向上及び住民福祉の増進を図るために設置している東城文化ホールの管理運営。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日</li> <li>・ 指定管理料：12,181千円</li> <li>・ 利用件数：50件</li> <li>・ 利用人数4,525人</li> </ul> </li> </ul>			
<b>【田園文化センター】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田園文化センターの利用促進及び適切な管理運営。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2階多目的ホールを廃止し、図書館キッズスペースと研修室に改修を行った。 田園文化センター改修工事：33,093千円 備品購入：6,122千円</li> </ul> </li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
○ 庄原市民会館			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理により施設を管理するとともに、ホール活用事業の実施により、市民に幅広い芸術、文化に触れる機会を提供した。大規模改修工事の完成を受け、年間を通してリニューアルオープン記念事業を実施することで、改修後の庄原市民会館の魅力を市民にアピールし、利用者の増加につなげることができた。</li> </ul>			
○ 東城文化ホール			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理により施設を管理するとともに、ホール活用事業の実施により、市民に幅広い芸術、文化に触れる機会を提供した。</li> </ul>			
○ 田園文化センター			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市美展及び新県美展巡回展は、庄原自治振興センター多目的ホールで開催した。</li> </ul>			

課題・対応	
<p>○庄原市民会館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアルオープンした施設を良好な状態で長期間利用できるよう維持管理を行う。</li> </ul> <p>○東城文化ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築から10年以上が経過し、ホール座席等の劣化が進んでいるため、計画的に修繕を実施する必要がある。</li> </ul> <p>○田園文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成元年開館以降、34年を経過し老朽化が進んでいる。</li> <li>・多目的ホールとして使用していた2階の部屋について、水漏れによる天井、壁面、床への汚れが目立つ状態になっていたが、改修工事により貼替を行った。</li> <li>・施設全体について、計画的に修繕を行う。</li> </ul>	
事業の成果	方向性
A	継 続

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1) 芸術・文化活動の推進		
主な取り組み	④部活動地域移行についての検討		
取り組み・実績			
<p>○関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄原市立中学校部活動検討会を設置し、部活動の地域移行について、課題や方向性の検討を行った。</li> </ul>			
成果・効果			
○研修会に参加する中で、先進地の事例が参考になった。			
課題・対応			
○本市のような広大な市域では、抱えている課題は同じであったが、全部を一度に移行するのではなく、できるところから取り組んでいく事例があった。本市も対応できるところから、積極的に取り組みを進めていく必要がある。			
事業の成果	方向性		
B	拡大継続		

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)文化財の保存・活用		
主な取り組み	①文化財の保護・管理の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○指定文化財の草刈り等の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財を後世に残していくために、国・県・市の指定文化財所有者が管理している文化財の防災対策や周辺の草刈りなど、環境の整備や日常管理に対する支援を行った。</li> </ul> <p>○国指定重要文化財「堀江家住宅」保存修理工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度に開始した堀江家住宅保存修理工事（屋根葺き替え及び木部修繕）について、県教育委員会、文化庁と密に連携し、所有者による事業実施及び国・県・市への補助金申請について支援を行うとともに、定期的な工程会議に参加し、工事の進捗管理に努めた。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○文化財の防災対策や草刈等の環境整備により、保存活用に一定の成果があった。</p> <p>○堀江家住宅保存修理工事について、令和5年12月に完了した。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○管理者の高齢化が進み、管理が困難になってきている。</p> <p>○保存修理工事完了後の堀江家住宅を良好な状態で保存していくため、今後の日常的な維持管理を行って行く。また、見学者の受け入れ等、活用についても所有者と協議していく必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)文化財の保存・活用		
主な取り組み	②文化財の活用推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○佐田谷・佐田峠墳墓群に係る講演会・企画展示等の実施</p> <p>・庄原市埋蔵文化財センターにおいて、令和6年3月下旬よりミニ収蔵品展「土器から見る弥生時代の『庄原市』」を開催した。</p>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○ミニ収蔵品展の開催により、佐田谷・佐田峠墳墓群をはじめとした本市の貴重な遺跡の周知啓発につなげるとともに、庄原市埋蔵文化財センターの活用にもつながった。講演会については講師の選定・調整が難しく、年度内に実施できなかった。</p> <p>○庄原DMOと共同で文化財ガイド養成講座を実施する予定であったが、コロナ禍の影響で多年にわたり実施していなかったこともあり、スケジュール等の調整がつかず、年度内に実施できなかった。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○佐田谷・佐田峠墳墓群の講演会については、講師の選定・日程調整を行い、令和6年度中に実施する。</p> <p>○文化財ガイド養成講座では、庄原DMOと更なる連携を行うとともに、講座の実施方法について検討する必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
C		継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)文化財の保存・活用		
主な取り組み	③文化財の継承・啓発		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○無形民俗文化財保存団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通年の無形民俗保有団体への補助金支援を実施するとともに、民俗芸能振興協議会を通じて連携を図った。</li> <li>・庄原市民俗芸能大会実行委員会が主体となり、2/18に4年ぶりとなる庄原市民俗芸能大会を開催し、国・県・市指定の無形民俗文化財保有団体6団体が出演した。入場者数約250人。</li> </ul> <p>○市史・町史誌の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財だよりの作成に取り組み、300部を発行した。</li> </ul> <p>○文化財指定への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天理大学の協力により、甲山古墳の地中レーダー探査及び電気比抵抗探査を実施した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○無形民俗文化財保存団体へ補助するとともに、庄原市民俗芸能大会を開催することで、市民に無形民俗文化財の魅力と価値を啓発するとともに、出演団体構成員の保存継承への意識を向上させ、貴重な無形民俗文化財の保存継承に寄与した。</p> <p>○文化財だよりの発行により、文化財の業務内容を周知することができた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○無形民俗文化財保存団体構成員の高齢化により、若い世代の継承が必要である。記録保存の対応も含め、保存措置を検討する必要がある。</p> <p>○市史・町史誌の販売数は低迷しており、活用の方法を模索する必要がある。</p> <p>○甲山古墳については、レーダー探査等によって石室等が発見できなかったことから、文化財保護審議会委員と連携し、令和7年度以降に3回目の発掘調査を実施するよう検討する。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)文化財の保存・活用		
主な取り組み	④埋蔵文化財への対応		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○開発に伴う埋蔵文化財の協議・届出等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間数十件協議がある埋蔵文化財協議及び届出等について、早期に実施できるよう、相手方と綿密な調整を行った。令和5年度は65件の文化財協議を実施した。</li> </ul> <p>○埋蔵文化財発掘調査資料の整理・保存</p> <p>○埋蔵文化財センターの活用・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の小学生を対象に郷土学習支援事業を実施した。(7回)</li> </ul> <p>○甲山古墳探査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天理大学の協力により、甲山古墳の地中レーダー探査及び電気比抵抗探査を実施した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○開発事業に伴う埋蔵文化財の協議・届出等への対応について、施行業者に周知が行き届き、文化財協議もスムーズに進めることができた。</p> <p>○庄原市埋蔵文化財センターについて、文化財調査や郷土学習支援事業の拠点施設として、機能することができた。</p> <p>○令和3年度に作成した赤色立体図を活用することにより、文化財協議等の対応がスムーズに進められるようになった。</p> <p>○郷土学習支援事業や出前トークの実施によって、文化財の普及啓発に一定の効果があった。</p> <p>○甲山古墳の地中レーダー探査等を実施したが、墳丘内部に石室等の反応は確認できなかった。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○庄原市埋蔵文化財センターは職員が常駐していないため、日常的な管理・活用が課題であり、文化財保護審議会委員と連携する等、効果的な方法を検討する。</p> <p>○甲山古墳については、地中レーダー探査等により石室等が発見できなかったことから、令和元年度及び令和3年度の発掘調査に続く3回目の発掘調査を令和7年度以降に実施し、最終的な確認を行う必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 ア 庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）に基づく各種事業の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
○博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）に基づく事業実施 ・令和3年度に策定した5ヵ年計画の3年目となり、引き続き各館において事業を展開した。 また、基本計画の中間年にあたることから、令和3～4年度の事業実施状況について中間年評価を実施し、博物館・資料館運営協議会及び教育委員会議において報告した。 ・全館共通のビジョン：全国に誇れる市民の博物館・資料館 ・各館のビジョン： 比和自然科学博物館：中国山地の魅力を発信する博物館 帝釈峡博物展示施設時悠館：帝釈峡と人々をつなぐビジターセンター 口和郷土資料館：先人の「知恵と技」が息づく、木造校舎のレトロな郷土資料館 庄原市歴史民俗資料館：歴史文化を学びにつなげる資料館 倉田百三文学館：市民に親しまれる倉田百三文学館 ・全館共通のミッション：郷土文化を凝集した『地域密着型』の施設 ・各館のミッション 比和自然科学博物館：広島県内唯一の自然史系博物館としての知的遊園地機能の発揮 帝釈峡博物展示施設時悠館：帝釈峡遺跡群及び帝釈峡の地域資源としての活用と継承 口和郷土資料館：道具に息づく先人の「知恵と技」への学びと継承 庄原市歴史民俗資料館：歴史文化の再発見と学びの拠点 倉田百三文学館：庄原市ゆかりの文学者 倉田百三の情報拠点としての充実 ○収集資料のくん蒸 ・毎年持ち回りで実施している収集資料のくん蒸について、令和5年度は庄原市歴史民俗資料館・倉田百三文学館で実施した。			
<b>成果・効果</b>			
○令和3年度に策定した「博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）」に基づき各館の目標を定めて事業を進めることができた。 ○庄原市歴史民俗資料館・倉田百三文学館のくん蒸を実施し、収集資料の保存環境を整えた。			
<b>課題・対応</b>			
○長期的な資料館運営を見据えた体制づくりの継続的な実施が必要である。 ○「博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）」は令和7年度が最終年度であるため、令和8年度以降の博物館・資料館の運営指針について検討していく必要がある。 ○令和6年度は、西城収集学習室のくん蒸を実施する。			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 イ 比和自然科学博物館・地学分館の管理・運営		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○比和自然科学博物館・地学分館の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度入館者 3,955 人</li> <li>令和5年1月に逝去された中村慎吾名誉館長の追悼展として、特別展「虫と草木と人びとと～比和自然科学博物館のあゆみと共に～」を開催した。(7/21～11/30、入館者 2,318 人)</li> <li>中国山地の魅力を発信するため、中国山地の自然をテーマに年間 11 回の公開講座（参加者計 347 人）及び宮島水族館への出張講座（参加者 14 人）を開催した。</li> <li>市民研究者チャレンジ企画展示「かがやく比和っ子、科学研究チャレンジ報告！」(3/25～5/21、入館者 572 人)、及び「はねも赤い“ベニトンボ”日本列島北上中?!～ベニトンボの広島県内採集標本初展示報告～」(12/4～3/29、入館者 633 人)を実施した。</li> <li>ミニ企画展示として、RCCテレビ番組「元就」のアンガールズ山根さん新種発見記念企画「アンガールズが比和で採った ちっちゃーい昆虫は 新種昆虫!!」(12/22～3/29、入館者 557 人)を実施した。</li> <li>岡山理科大学及び客員研究員と連携し、イシハラオオスッポン化石の調査研究を実施した。</li> <li>学校の課外授業や職員研修の場として博物館見学の対応を行った。</li> <li>地元の自然史系博物館として、市内の小学校に、館長出張授業による総合的な学習の時間の授業支援ができた。</li> <li>市内学校等への周知、HPやフェイスブックの活用、インターネットミュージアムキャラクターアワードへのノミネート、マスコミ取材対応等により、周知を行った。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○年間を通して魅力のある企画展示やイベントを実施し、様々な媒体を活用したPRや口コミ等の効果により、年間入館者数がコロナ禍前の水準まで回復してきた。</p> <p>○特別展をはじめ企画展示や博物館公開講座などの活動を実施することにより、県内唯一の自然史系博物館として学習の場（知的遊園地）としての役割を果たした。</p> <p>○宮島水族館・備北丘陵公園・庄原DMO、備北交通圏など、業種を越えた連携による幅広い事業展開ができた。</p> <p>○市民参加型展示企画や館長出張授業などの実施により自然史系博物館としてのノウハウを市民へ還元することができ、合わせて効果的な周知活動が展開できた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○博物館法改正に伴う博物館再登録に向け、収蔵資料目録の整理を行う必要がある。</p> <p>○長期的な博物館運営を見据えた博物館施設修繕及び改修の検討と運営体制づくりについて、継続的に取り組む必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
A		継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 ウ 帝釈峡博物展示施設時悠館（帝釈峡まほろばの里含む）の管理・運営		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○時悠館の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度入館者 2,564 人</li> <li>企画展を兼ねた回廊展示③の見直しを実施し、御神山・帝釈天信仰の形成過程に関する調査研究や市内の神楽・田植等民俗文化財に関する調査研究の成果を反映した展示内容「中国山地の歴史文化」に更新した。（企画展期間 7/22～12/24、入館者 1,492 人）</li> <li>回廊展示③「中国山地の歴史文化」にあわせ、講演会 2 回、市民講座 3 回を開催した。（参加者計 182 人）</li> <li>広島大学との連携による帝釈峡遺跡群出土文化財の台帳整理や岡山理科大学による名越 1 号人骨のゲノム解析等、研究機関・専門家等と連携した調査研究を行った。</li> <li>市内小中学校からの見学（5 回、98 人）を受け入れるとともに、周辺文化財見学会や出前講座等（14 回、参加者計 385 人）の郷土学習支援事業を実施した。また、来館者の求めに応じて雄橋・寄倉岩陰遺跡等の現地解説を実施した。</li> <li>外壁修繕、消火ポンプ取替修繕、エアコン修繕、自動ドア修繕、事務室・研究室照明 LED 化等、施設の修繕を実施した。</li> </ul> <p>○帝釈峡まほろばの里の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草刈り業務等の管理運営を行った。</li> <li>交流促進センターの施設管理に努め、オートキャンプ場利用業務に対応した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○当館運営方針及び庄原市博物館・資料館の新たな在り方基本計画（第3期）に掲げた目標の達成に向けた事業を推進することができた。</p> <p>○「多様な主体との連携」を進め、地域資源をとともに掘り起こして発信することができ、地域づくりに貢献できた。</p> <p>○岡山理科大学による最新の科学技術を活用した資料調査等、各専門機関等との連携による学術研究を推進することができた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○博物館法改正に伴う博物館再登録に向け、収蔵資料目録の整理を行う必要がある。</p> <p>○開館から 20 年以上が経過し、施設老朽化が進んでおり、改修・リニューアルに係る計画など、博物館としての機能を維持するための対応が必要である。</p> <p>○旧帝釈郷土館を含めた収蔵品の適正な管理と活用に向けた資料整理が必要である。</p> <p>○まほろばの里の管理については、コテージ建設が予定されており、指定管理の再開を含めた今後のあり方を関係部署と協議する必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
A		継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 エ 庄原市歴史民俗資料館 (火野葦平と母マン資料室、西城・総領収蔵学習室含む)の管理・運営 オ 倉田百三文学館の管理・運営		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○庄原市歴史民俗資料館（火野葦平と母マン資料室・西城・総領 収蔵学習室含む）の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示資料の配置換え・児童向けの説明板等の設置を行い、分かりやすい展示に努めた。</li> <li>・寄託資料等の確認及び資料の借用期間延長手続きを行った。</li> <li>・学校の課外授業の場として博物館見学の対応を行った。</li> <li>・図書館と連携して火野葦平に関する書籍等を紹介し、併せて貸出を行う事で火野文学の興味・関心を高めた。</li> </ul> <p>○倉田百三文学館の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄託資料等の確認を行った。</li> <li>・庄原国民学校校歌（現：庄原小学校校歌）作歌時の倉田百三直筆の歌詞原稿等が発見され、所有者より寄贈を受け、展示に向け準備を行った。</li> <li>・学校の課外授業の場として文学館見学の対応を行った。</li> <li>・図書館と連携して、倉田百三に関する書籍等を紹介し、併せて貸出を行う事で倉田文学の興味・関心を高めた。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○市内各施設のガイダンス機能を発揮するための展示内容の工夫改善等に努めた。</p> <p>○図書館と連携して倉田百三、火野葦平等のコーナーを設置して紹介する事で、来館者の興味・関心を高めることにつながった。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○西城・総領収蔵学習室の資料整理が今後の活用が課題である。体制を整え、展示及びその充実につなげる必要がある。</p> <p>○倉田百三友の会と連携を図りながら、常設展示内容の改善を行う。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	①博物館・資料館機能の充実 カ 口和郷土資料館の管理・運営		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○口和郷土資料館の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度入館者 1,873 人</li> <li>口和郷土資料館改修工事を実施し、窓枠への防犯、防塵、防風対策及びトイレのバリアフリー化、収蔵室・展示室の改修等を行った。 工事費 22,360 千円</li> <li>保有する約 2 万枚のレコードを歌手別、ジャンル別等に専門家の意見を聞きながら分類し、データベース化前のデータ入力を行った。また、寄贈資料についても、データベース化に向けた整理を実施した。</li> <li>45 周年記念イベントとして企画展「未来技術遺産展」(5/27～8/7、入館者 428 人)及び「蓄音機展」(8/28～10/28、入館者 472 人)を開催し、あわせて企画展記念講演を 2 回開催した。</li> <li>令和 6 年度開催予定の企画展「ラジオ・テレビ展」に向け、収蔵資料の点検及び動作確認を実施した。</li> <li>令和 3 年 11 月から実施している映画上映会を引き続き毎月 1 回開催し、ホームページ、SNS 等で情報発信した。(12 回、来場者計 218 人)</li> <li>音楽会「みんなで歌う会」(10 回、参加者計 187 人)、ラジオ作り体験教室(3/24、参加者 41 人)のほか、市内小中学校・保育所の見学等、体験学習の場を提供した。</li> <li>口和郷土資料館のリーフレットを更新した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○口和郷土資料館改修工事の実施により、施設の収蔵・展示機能の向上、防犯対策、安全対策、バリアフリー化等を行うことができた。</p> <p>○45 周年イベントとして館の特色を活かした企画展を実施し、明治から昭和にかけての音響・映像機器等の魅力を発信することができた。</p> <p>○当館の魅力である動態展示、約 2 万枚以上あるレコード、映像ソフトのデータベース化に向けてデータ入力やホームページのリニューアル等計画的に行うことができた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
○長期的な資料館運営を見据えた運営体制づくりについて、継続的に取り組む必要がある。			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	3 芸術・文化の推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(3)博物館・資料館の活用		
主な取り組み	②連携・啓発事業の展開		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○収蔵資料の出前展示や資料貸出等の活用と整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館・資料館と学校が連携・協力して郷土学習支援事業のメニューを充実させ、多くの児童生徒が体験できる施設、楽しめる施設となるよう取り組んだ。</li> <li>・考古資料の有効活用を図るため、庄原市埋蔵文化財センターを拠点として、収蔵資料の収集・保管・活用に取り組んだ。</li> <li>・例年の備北丘陵公園たたらイベントにあわせて、西城収蔵学習室の資料を貸し出して活用を図った。</li> <li>・出雲弥生の森博物館の夏季企画展にあわせて、資料（土器）の貸し出しを行った。</li> </ul> <p>○地域・学校等と連携した体験学習や出前授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、バス運行の支援を中心とした放課後子供教室・学校等との連携事業を実施した。</li> </ul> <p>○地域や観光と連携した講座の推進と支援</p> <p>ア 比和自然科学博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮島水族館との連携事業として公開講座「宮島水族館から磯の生き物たちがやってくる」を開催し、子供達が興味関心を引く取り組みを実施した。また、出張講座として宮島水族館を会場に出張講座「化石の話ーむかし山は海だった」を実施した。</li> <li>・備北丘陵公園と連携した公園内での出張展示「比和自然科学博物館から化石たちがやってき!」、備北交通(株)と連携した「夏休みこども乗り放題パス 2023 スタンプラリー」の協力など、他業種との連携事業を展開した。</li> <li>・地元の自然史系博物館として市内の小学校に、館長出張授業による総合的な学習の時間の授業支援を行った。</li> </ul> <p>イ 帝釈峡博物展示施設時悠館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「帝釈峡の魅力を引き出す連携啓発」に向けて、備北丘陵公園と連携した公園内でのパネル展示への参画を行った。</li> <li>・時悠館友の会や東城町ふるさと今昔講座において講演を行うとともに、東城小、栗田小と連携し、児童による研究発表会「帝釈峡の魅力を引き出す研究報告会」を開催した。</li> </ul> <p>ウ 口和郷土資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内2つの観光交流施設と連携し、相互間の情報提供を実施した。</li> <li>・月1回の音楽会の開催、障害者作業所や社会福祉協議会の交流の場を提供する等、地域社会への参画を行った。</li> </ul>			

成果・効果	
<p>○西城のたたら資料は他施設への貸出が定着しつつある。引き続き色々な分野との提携を行い、資料の活用を図りたい。</p> <p>○地域学習の一環としてバス利用や出前授業等一定の効果があった。</p> <p>○比和自然科学博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校・宮島水族館・備北丘陵公園・庄原駅周辺地区まちづくり協議会・備北交通㈱・広島県など、業種を越えた連携による幅広い事業展開ができた。</li> <li>・市民参加型展示企画や館長出張授業などの実施により自然史系博物館としてのノウハウを市民へ還元することができ、合わせて効果的な周知活動が展開できた。</li> </ul> <p>○帝釈峡博物展示施設時悠館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多様な主体との連携」を進め、地域資源とともに掘り起こして発信することができ、地域づくりに貢献できた。</li> </ul> <p>○口和郷土資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流施設や地域との連携により、効果的に周知啓発を図ることができた。</li> </ul>	
課題・対応	
<p>○庄原市歴史民俗資料館及び倉田百三文学館においても、積極的に連携・啓発事業を推進していく必要がある。</p>	
事業の成果	方向性
B	継 続

## 生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)スポーツ活動の推進		
主な取り組み	①地域スポーツの推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○地域のスポーツイベントへの支援</p> <p>第33回庄原市スポーツフェスティバル 7/1～8/31          第18回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会 10/21          第24回ひろしまクロスカントリー大会 8/19          第72回庄原市スター式駅伝大会 12/3          その他、各種スポーツ団体主催の大会、イベント等の支援</p> <p>○スポーツ推進委員活動の推進</p> <p>・スポーツ推進委員は、各地域における活動のほか、各種研修会等へ参加し、各自が資質の向上に努めた。また、軽・ニュースポーツの普及のため、出前講座、体験会なども行った。          任期：R5.4.1～R7.3.31 委員数40人          新体力測定会 10/31（庄原市総合体育館）参加者17人</p> <p>○市民スポーツ教室の推進</p> <p>・健康づくりや体力づくり、各種競技の技術力の向上を目的に市民が気軽に参加できるスポーツ機会の提供を行う事業として、庄原市総合体育館の指定管理者である庄原市総合サービス(株)に委託し、スポーツ教室を開催した。（テニス教室など、7教室を開催、参加者2,644人）</p> <p>○ニュースポーツ、軽スポーツ(※)の普及</p> <p>・気軽にスポーツに親しむことができる機会を提供し、市民相互の交流を深めるとともに健康づくりを図り、生涯スポーツ社会の普及・定着を目的として、総合型地域スポーツクラブ「庄原さくらスポーツクラブ」への委託事業として実施した。（4種目 6回 参加者140人）</p>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○各地域のスポーツ推進委員は、積極的な研修への参加や地域スポーツ活動に参画し、地域においての継続的な活動を支援している。</p> <p>○市民スポーツ教室は、毎年市民のニーズに合わせて開催されており、好評である。</p> <p>○軽・ニュースポーツの出前講座・体験会について、学校や地域からの申し込みが増加してきている。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○軽・ニュースポーツの出前講座・体験会については、スポーツ推進委員とさくらスポーツクラブが協力して取り組む必要がある。</p> <p>○市民のニーズに応じたスポーツ教室の開催は、他の行事等と日程の重複が起こらないよう、各団体と横断的な連携を図る必要がある。</p> <p>○スポーツ推進委員について、委員の活動の方向性を明確にする必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>拡大継続</b>	

※軽スポーツ・・・一般的なスポーツに比べ負担が少なく、ルールも簡単で、幅広い年齢層の方が一緒になって楽しむことができるスポーツ。ニュースポーツ、レクリエーションスポーツと呼ばれることがある。また、現在では、アダプトスポーツなどとして名称が変換されていることがある。  
 (例) ボッチャ、モルック、シャルフボード、グラウンド・ゴルフなど

## 生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1) スポーツ活動の推進		
主な取り組み	② スポーツ団体の育成・支援		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○庄原市スポーツ協会の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各主催行事の連携・協力を行った。</li> <li>補助金：4,590千円（運営費）</li> <li>第48回広島県民スポーツ大会参加</li> </ul> <p>○庄原市スポーツ少年団の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各主催行事に連携・協力を行った。</li> <li>補助金：4,770千円（運営費）</li> <li>各支部・単位団への運営費補助</li> <li>第48回広島県民スポーツ大会出場（スポーツ少年団の部）</li> <li>陸上競技 10/1、剣道 10/28、柔道 10/29、卓球 11/18、空手道 11/23</li> </ul> <p>○スポーツ指導者の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各スポーツ団体などの有資格者との連携を行った。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○各主催行事に連携・協力をし、地域スポーツの推進に努めた。</p> <p>○各スポーツ団体などの有資格者と連携しながら、指導者の確保に努めた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○各スポーツ団体では、指導者不足や指導者の高齢化が課題となっている。</p> <p>○補助金の適切な執行について、継続して指導・助言を行う。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)スポーツ活動の推進		
主な取り組み	③総合型地域スポーツクラブの展開		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○総合型地域スポーツクラブ「庄原さくらスポーツクラブ」、「節分草スポーツクラブ」の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄原さくらスポーツクラブに90千円、総領節分草スポーツクラブに45千円を補助し、ニュースポーツの普及、会議・研修会への情報提供を行っている。会員拡大に向け、回覧文書の作成も行った。</li> </ul> <p>○総合型地域スポーツクラブの体験会開催や設立に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の地域においても、クラブの設立が行えるようスポーツ推進委員が体験会を計画するなどの支援を行った。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○総合型地域スポーツクラブによるニュースポーツ・軽スポーツの普及活動は、気軽にスポーツに参加できるとして、地域や学校から体験会で指導をお願いされることが増えてきた。</p> <p>○「節分草スポーツクラブ」は、自治振興区やスポーツ推進委員と連携して、地域のスポーツ活動を推進している。</p>			
<b>課題・対応</b>			
○既存のスポーツクラブのPRを行うなど、総合型地域スポーツクラブを周知することで、新規会員の獲得を図る必要がある。			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)スポーツ活動の推進		
主な取り組み	④競技力向上・ジュニアスポーツの推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○レベルアップスポーツ教室の充実  (水泳・陸上競技・バレーボール・スキー・バスケットボール・卓球・サッカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各レベルアップ教室を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①陸上 56人 ②水泳指導者派遣 49人</li> <li>③水泳 初級 延べ41人 中級 延べ14人 上級 延べ11人 計6回</li> <li>④バスケットボール 54人 ⑤バレーボール 中止 ⑥卓球 34人 ⑦スキー 47人</li> <li>⑧サッカー 21人</li> </ul> </li> <li>○レベルアップ指導者講習会の実施(水泳・陸上) <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者講習会を行い、指導内容の充実を目指した。(市内小学校教諭対象) <ul style="list-style-type: none"> <li>①陸上指導者講習会 10人 ②水泳指導者講習会 11人</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○文化・スポーツ全国大会等出場者への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度の対象者は延べ65人(うち団体4)</li> <li>・夏季壮行式 7/20 ・秋季壮行式 9/28 ・冬季壮行式 1/26</li> <li>壮行式に参加できなかった児童、生徒には保護者を通じて賞賜金を手交した。</li> </ul> </li> <li>○庄原市少年少女スポーツ振興会との連携による各種記録会等開催支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供達の運動に親しむ資質や能力を育成するため、レベルアップスポーツ教室事業に参画・後援をいただき連携を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>庄原市レベルアップスポーツ教室への後援</li> <li>庄原市少年少女陸上記録会・水泳記録会への協力</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○スポーツ大使金藤理絵氏による水泳教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳指導者派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>6/28 栗田小学校、6/29 口和小学校・峰田小学校、6/30 庄原小学校、7/3 比和小学校</li> </ul> </li> <li>・レベルアップ水泳教室 7/2 参加者延べ40人</li> </ul> </li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○レベルアップスポーツ教室は一部の種目を除き、ほとんどの種目を実施することができた。</li> <li>○全国大会の出場者に関する情報が多方面から得られるようになってきた。</li> <li>○壮行式について、YouTubeによる録画配信を行った。</li> </ul>			
<b>課題・対応</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○レベルアップスポーツ教室について、ニーズに応じて、種目を検討する必要がある。</li> <li>○文化・スポーツ全国大会等出場者への支援を行うため、学校や地域からの情報収集に努める必要がある。</li> </ul>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継 続	

## 生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(1)スポーツ活動の推進		
主な取り組み	⑤障害者スポーツへの支援		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○各種施設、設備等の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツへの支援を行った。また、障害者スポーツの充実に向けて、ニュースポーツの用具等を購入した。</li> </ul> <p>○指導者、ボランティアスタッフの育成及び活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツ体験会の開催 出前講座「障害者スポーツを体験しよう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>①ボッチャ・ユニカール 7/ 8 参加者 17 人</li> <li>②モルック体験会 9/13 参加者 20 人</li> <li>③ボッチャ体験会 11/ 1 参加者 20 人</li> <li>④ボッチャ体験会 2/19 参加者 15 人</li> </ul> </li> <li>・軽・ニュースポーツ体験会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①ボッチャ体験会 7/19 参加者 12 人</li> <li>②モルック交流会 9/20 参加者 8 人</li> <li>③フライングディスク体験会 10/14 参加者 8 人</li> <li>④ボッチャ体験会 10/21 参加者 13 人</li> <li>⑤モルック体験会 2/21 参加者 15 人</li> <li>⑥モルック体験会 3/ 9 参加者 20 人</li> </ul> </li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○身体障害者連合会と連携して、体験会を行うことができた。</p> <p>○体験会・交流会の支援の依頼が、コロナ禍前に戻りつつある。スポーツ推進委員を中心に支援を行うことができた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○障害者スポーツに必要な備品等の計画的な整備や、障害のある方が安心してスポーツを楽しむことができる環境の整備について、検討していく必要がある。さらに継続的かつ計画的に障害者スポーツ指導員やボランティアなどの人材育成を図る必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)スポーツ環境の充実		
主な取り組み	①社会体育施設の利用促進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○体育館、総合運動公園、屋内外体育施設等の管理・運営（指定管理・直営管理）及び利用促進</p> <p><b>【指定管理施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄原市総合体育館、庄原市テニスコート、庄原市多目的広場、庄原市水泳プール、庄原市運動広場、庄原市スポーツ広場 指定管理者：庄原市総合サービス(株) 55,472千円</li> <li>・口和スポーツセンター 指定管理者：庄原市口和スポーツセンター管理組合 217千円</li> <li>・西城総合運動公園(道後山高原クロカンパーク) 指定管理者：(有)道後山高原サービス 24,952千円</li> </ul> <p><b>【直営管理】</b>(各種スポーツ施設・学校体育施設開放事業を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比和総合運動公園、口和総合運動公園、庄原市口和水泳プールほか</li> </ul> <p>○社会体育施設維持整備方針に基づく各施設の計画的な維持修繕、改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内には、多くの施設が存在し、いずれも老朽化が進行している。各施設の維持管理について、計画的に修繕や更新を実施した。</li> </ul> <p><b>【修繕・工事・委託】</b>(主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比和総合運動公園比和体育館屋根修繕工事 17,050千円</li> <li>・庄原市総合体育館量水器取替工事 255千円</li> </ul> <p>○水夢フェスティバル水泳記録会等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄原市少年少女水泳記録会 7月28日、水夢フェスティバル水泳大会 10月29日 参加者102名</li> <li>・各種教室の実施状況 ベビースイミング教室(12回開催、延べ68名参加)、幼児スイミング教室(12回開催、96名参加)、親子体操教室(6回開催、39名参加)、太極舞教室(7回開催、延べ45名参加)</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
○指定管理施設については、指定管理者により、適正な管理運営が行われている。直営施設についても、定期的な点検や確認を行い、必要に応じて修繕を行う等適正に管理している。			
<b>課題・対応</b>			
<p>○管理運営方法については、引き続き各々の施設の特徴や現状、利用者増進の取り組み等を考慮し、「直営」「指定管理」の選択を行う。</p> <p>○老朽化が進行している施設については、計画的に修繕等を行っていくが、「庄原市社会体育施設維持整備方針」に基づき、管理運営等の方向性を含め、今後のあり方を検討する必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)スポーツ環境の充実		
主な取り組み	②学校体育施設の活用		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○市内小中学校の体育施設開放事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小中学校の屋内体育施設、屋外体育施設を学校運営に支障のない範囲で市民に供するため開放事業を実施した。</li> <li>施設使用後は用具や施設を除菌すること、使用日誌へ連絡先を記入した名簿を添付してもらうことなど、できる限り感染防止の対策を行った。</li> </ul> <p>○県立学校体育施設開放事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の県立学校体育施設を学校運営に支障のない範囲で市民に供するため、各学校と利用契約を締結し、開放事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>広島県立庄原実業高等学校（グラウンド）</li> <li>広島県立庄原特別支援学校（グラウンド）</li> <li>広島県立東城高等学校（グラウンド・体育館 3回延べ33人）</li> </ul> </li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○市内小中学校体育施設開放事業は、地域に密着したスポーツ活動拠点施設として位置付いており、利用者も多い。子供から大人まで様々なスポーツを行うため利用されている。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業については、県のホームページにおいて利用案内を行っており、新たに東城高等学校体育館の利用の希望があり、3月から利用されている。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○市内小中学校の体育施設開放事業については、今後も円滑に利用していただけるよう、各校と協議を行っていく。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業については、対象校と連携して事業を行っていく必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

## 生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)スポーツ環境の充実		
主な取り組み	③学校・家庭・地域のネットワークづくり		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○庄原市スポーツ少年団、自治振興区及び社会教育関係団体相互の連携による子供達のスポーツ参加促進へ取り組んだ。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ等による地域全体を巻き込んだスポーツ活動への取り組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から要請された出前講座</li> <li>・小学校から要請された出前講座</li> <li>・さくらスポーツクラブ、スポーツ推進委員が協力して、ニュースポーツの指導を行った。(ボッチャ・モルックなど)</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
○さまざまな方面から、ニュースポーツの出前講座の声がかかるようになってきた。総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員が協力して、ニュースポーツの普及に取り組んだ。			
<b>課題・対応</b>			
○PTCなどでニュースポーツの体験会を企画していただけるよう、広報を行っていく。			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継 続	

## 生涯学習

施策の分野	4 スポーツの推進	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)スポーツ環境の充実		
主な取り組み	④部活動地域移行についての検討		
<b>取り組み・実績</b>			
○庄原市立中学校部活動検討会を設置し、部活動の地域移行について、課題や方向性の検討を行った。また、県や国の研修会に参加して、意見交換等を行った。			
<b>成果・効果</b>			
○研修会に参加する中で、先進地の事例が参考になった。			

課題・対応	
<p>○本市のような広大な市域では、抱えている課題は同じであるが、全部を一度にするのではなく、できるところから取り組んでいく事例があった。本市も対応できることから、積極的に取り組みを進めていく必要がある。</p>	
事業の成果	方向性
B	拡大継続

## 家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(1)教育風土の醸成		
主な取り組み	①地域社会に貢献できる人材の育成		
取り組み・実績			
<p>○市内全校で学校運営協議会制度を導入し、地域とともにある学校づくりを推進した。</p> <p>○各学校の教育内容に係る取り組みについて、年度当初に学校運営協議会で熟議し、年度末には自己評価を実施した。</p> <p>○各学校の総合的な学習の時間において、「地域を知る」「地域を誇りに思う」「地域に貢献する」などをテーマにした学習を行っている。</p>			
成果・効果			
<p>○学校運営協議会の場で児童生徒の意見を取り上げる、学校と地域が協力して地域人材の発掘・活用を行うなど、各校の特色を生かした活動が行われた。</p> <p>○各学校において、総合的な学習の時間の年間指導計画及び単元づくりの改善・充実が進められている。</p> <p>○広島県児童生徒学習意識等調査（小学5年生・中学2年生）において、小学生の90.9%、中学生の88.4%が「自分の住んでいる地域が好き」と答えている。特に中学生は県平均84.1%に対して4.3ポイント上回っている。</p>			
課題・対応			
<p>○各校での総合的な学習の時間において、地域と連携を図りながら、「地域を知る」学習から「地域を誇りに思う」「地域に貢献する」気持ちを醸成する学習へと、発達段階に応じながら進めていく。</p> <p>○地域との交流や行事への積極的参加を通して、より一層地域への理解を深めるようにする。</p>			
事業の成果	方向性		
B	継続		

## 家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	教育指導課
施策の基本方針	(1)教育風土の醸成		
主な取り組み	②地域理解を深める教育活動の推進		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○学校や地域の教育活動等の公開の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「庄原市教育フォーラム」は10/21に、「庄原市中学校合唱コンクール」は4年ぶりに11/14に開催した。</li> <li>・市ホームページの教育長メッセージを毎月1日に更新し、教育への関心を啓発した。特に家庭での過ごし方について具体的に取り組みを提案した。</li> <li>・市主催研修会や行事を市ホームページに掲載し、教育活動への理解を促進した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○「庄原市教育フォーラム」は、科学研究をテーマとして開催した。児童生徒の身近にある研究発表やJAXA宇宙科学研究所教授、「はやぶさ2」のチームリーダーである津田雄一氏の講演を通して、学校教育・家庭教育の在り方、夢に向かって努力することなどについて、地域・家庭・学校が共に考える機会となった。</p> <p>○「庄原市中学校合唱コンクール」は、市内中学3年生を中心に一堂に会して行い、各校の練習の成果を保護者、地域にも発表することができた。</p> <p>○市主催研修や行事など、終了後、速やかに市ホームページへ掲載している。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○「庄原市教育フォーラム」について、今後も今日的課題に対応する内容で実施できるよう準備を進めていく。</p> <p>○市ホームページに教育長のメッセージや主催研修などの様子を掲載していることを周知し、閲覧者を増やす。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継 続	

## 家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)家庭・地域と一緒に取り組む教育活動		
主な取り組み	①家庭の教育力の向上		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○子育てに関する学習機会や情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親の力をまなびあう学習プログラム」を活用した参加型講座の開催 講座の実施(全1回) 11/2 東小学校 対象者:東小学校保護者</li> </ul> <p>○家庭教育に関する講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自らが地域課題の解決に向けた活動に結びつけていく力を醸成するため、家庭・地域の教育力を高める事業を、自治振興区を中心に展開した。</li> <li>・こどもまつりの中で、「あそびのひろば」を開催した。 11/4 庄原市民会館</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○自治振興区を中心に、子供の自主性を育てる事業や親子の学びにつながる事業などに取り組んでいる。</p> <p>○家庭教育支援チームのメンバーが中心となり、「あそびのひろば」を企画し、開催した。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○ファシリテーター(※)の研修会への参加や連絡会議の開催により、情報交換やスキルアップを図る。</p> <p>○子供と保護者が一緒に参加し、家庭教育に結びつける事業の実施を呼びかける必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
<b>B</b>		<b>拡大継続</b>	

※ファシリテーター… 会議などの場で参加者の発言を促したり、話をまとめたりすることで、話し合いをより良いゴールに導く進行役のこと。

## 家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)家庭・地域と一緒に取り組む教育活動		
主な取り組み	②地域の教育力の向上		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○地域社会全体で次代を担う健全な子供を育てる取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育力等の地域課題に対応した学習活動の推進 住民自らが地域課題の解決に向けた活動に結びつけていく力を醸成するため、子供から高齢者まで幅広い世代の住民を巻き込んだ事業を、自治振興区を中心に展開した（年間開催 31 事業 参加者 729 人）。</li> <li>・学校・家庭・地域等の連携による世代間交流事業や放課後子供教室の実施 放課後児童クラブの補完として安全な居場所の確保のため、自治振興区に委託し、放課後子供教室を7教室開設（峰田・高・山内・八幡・粟田・総領・比和）した。</li> <li>・地域住民による学習支援「地域未来塾」の開設 自治振興区へ運営を委託することにより5教室（小奴可・田森・上高・比和・総領）に、9クラスを開設した。</li> <li>・「読書」をキーワードとした家庭教育支援事業の推進、読書ボランティア、自治振興区、市内書店や学校司書等による家庭教育支援チームの活動支援</li> <li>・家庭教育支援チームの活動支援に向けた検討を行った。こどもまつりにおいて、「あそびのひろば」を開催した。</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○自治振興区を中心に、子供の自主性を育てる事業や親子の学びにつながる事業などに取り組んでいる。</p> <p>○本市の放課後子供対策として、全ての学校区に放課後児童クラブ又は放課後子供教室を開設し、放課後の児童の安全な活動拠点を確保している。</p> <p>○地域の教育力向上と活性化・読書ボランティアによる読み語りにより、身近な地域住民による読書活動の推進が行われた。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○子供と保護者が一緒に参加し、家庭教育に結びつける事業の実施を呼びかける必要がある。</p> <p>○自治振興区によるすべての児童が参加できる体験活動等の充実を図る。</p> <p>○家庭教育支援チームのあり方について、読書だけでなく、さまざまな方面の支援の検討が必要である。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		拡大継続	

## 家庭・地域の教育

施策の分野	5 家庭・地域の教育力の向上	担当課	生涯学習課
施策の基本方針	(2)家庭・地域と一緒に取り組む教育活動		
主な取り組み	③放課後の子供の育成		
<b>取り組み・実績</b>			
<p>○放課後子供教室の充実と放課後児童クラブとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄原市放課後子ども総合プランに基づく学校の余裕教室を活用した開設は学校施設管理の問題から開設が困難なため、プランの趣旨に沿った子供に対する体験学習（放課後児童クラブの利用児童が児童クラブ開設時間内に体験活動等ができる）の実施について、引き続き児童福祉課と連携して開設に向けて取り組んでいる。</li> <li>・「放課後子ども総合プラン」放課後子供教室の整備計画 令和6年度目標：13カ所</li> <li>・放課後子供教室開設状況 令和5年度：7カ所（うち連携型：比和）</li> </ul>			
<b>成果・効果</b>			
<p>○安全・安心な活動拠点として、放課後子供教室では毎月100名程度の利用者がいる。放課後児童クラブの補完型だけではなく、子供の体験教室として実施している自治振興区もある。</p> <p>○地域の方々が指導員をされている教室では、世代間の交流も行われている。</p>			
<b>課題・対応</b>			
<p>○自治振興区が放課後児童クラブの利用児童も参加できる体験活動等の充実を図り、他の事業との連携を兼ねた開設に向け、情報収集を行う。</p> <p>○実施主体である自治振興区から配慮の必要な児童への対応について相談が増加している。学校や教育指導課等と連携し対応していく。</p> <p>○指導員が不足している放課後子供教室もあり、指導員の確保について、検討を行う必要がある。</p>			
<b>事業の成果</b>		<b>方向性</b>	
B		継続	

### Ⅲ 教育委員会委員の活動状況

#### 1 庄原市教育委員会（令和5年5月1日現在）

役職名	氏名	任期
教育長	牧原 明人	令和3年7月1日～令和6年6月30日
委員 教育長職務代理者	横山 和明	令和2年4月29日～令和6年4月28日
委員	立花 有佐	令和3年4月29日～令和7年4月28日
委員	捻金 宏昭	令和5年4月29日～令和9年4月28日
委員	渡部 要	令和4年7月1日～令和8年6月30日

#### 2 教育委員会議の開催状況

月日	会議名	概要
4月21日	令和5年第5回教育委員会議	議案3件、報告4件、協議0件
5月26日	令和5年第6回教育委員会議	議案7件、報告1件、協議0件
6月16日	令和5年第7回教育委員会議	議案3件、報告0件、協議1件
7月21日	令和5年第8回教育委員会議	議案3件、報告1件、協議1件
8月17日	令和5年第9回教育委員会議	議案4件、報告0件、協議0件
9月15日	令和5年第10回教育委員会議	議案7件、報告2件、協議1件
10月23日	令和5年第11回教育委員会議	議案3件、報告1件、協議0件
11月20日	令和5年第12回教育委員会議	議案3件、報告0件、協議2件
11月22日	令和5年教育委員会議（書面表決）	議案2件、報告0件、協議0件
12月22日	令和5年第13回教育委員会議	議案1件、報告3件、協議0件
1月19日	令和6年第1回教育委員会議	議案2件、報告2件、協議1件
1月31日	令和6年教育委員会議（書面表決）	議案1件、報告0件、協議0件
2月16日	令和6年第2回教育委員会議	議案2件、報告2件、協議2件
3月11日	令和6年第3回教育委員会議	議案4件、報告0件、協議0件
3月27日	令和6年第4回教育委員会議	議案7件、報告2件、協議0件

### 3 教育委員会議の議決案件及び主な報告・協議事項

令和5年（4月～12月）

開催番号	議案等	議 題 名	備考
第5回	第21号	庄原市奨学金貸付審査会委員の委嘱について	承認
	第22号	庄原市教育支援委員会委員の委嘱について	承認
	第23号	庄原市学校医の委嘱について	承認
	報告	令和5年度教育委員会会計年度任用職員の任用について	—
	報告	令和5年度各課・室事務分掌について	—
	報告	令和5年度における重要課題及び留意事項について	—
	報告	学校における働き方改革取組方針について	—
第6回	第24号	令和6年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択基本方針について	承認
	第25号	令和5年度一般会計補正予算（第2号）（教育委員会所管分）について	同意
	第26号	令和5年度一般会計補正予算（第3号）（教育委員会所管分）について	同意
	第27号	庄原市奨学金貸付審査会委員の委嘱について	承認
	第28号	庄原市教育事務評価検討委員の委嘱について	承認
	第29号	庄原市学校保健会委員の委嘱について	承認
	第30号	庄原市教科用図書採択地区選定委員会委員の委嘱について	承認
報告	庄原市立中学校部活動検討会設置要項について	—	
第7回	第31号	庄原市博物館・資料館運営協議会委員の委嘱について	承認
	第32号	庄原市図書館協議会委員の委嘱について	承認
	第33号	庄原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	承認
	協議	令和4年度教育行政施策の方針に基づく点検・評価について	—
第8回	第34号	庄原市社会教育委員の委嘱について	承認
	第35号	庄原市芸術文化振興審議会委員の委嘱について	承認
	第36号	庄原市美術展覧会運営協議会委員の委嘱について	承認
	協議	令和4年度教育行政施策の方針に基づく点検・評価について	—
	報告	市議会6月定例会一般質問の概要（教育委員会関係）について	—
第9回	第37号	令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書について	承認
	第38号	令和5年度庄原市一般会計補正予算（第4号）（教育委員会所管分）について	同意
	第39号	令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について	決定
	第40号	令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
第10回	第41号	令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	第42号	庄原市社会教育委員の委嘱について	承認
	第43号	庄原市芸術文化振興審議会委員の委嘱について	承認
	第44号	庄原市博物館・資料館運営協議会委員の委嘱について	承認
	第45号	庄原市図書館協議会委員の委嘱について	承認
	第46号	庄原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	承認
	第47号	庄原市文化財保護審議会委員の委嘱について	承認
	報告	広島県公立学校教職員人事異動方針について	—
	報告	全国学力調査 広島県学習意識等調査について	—
	協議	庄原市教育委員会市内県立学校訪問について	—

開催番号	議案等	議 題 名	備考
第11回	第48号	庄原市公立学校通学補助金等交付要綱の一部改正について	可決
	第49号	令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	第50号	庄原市図書館協議会委員の委嘱について	承認
	報告	令和5年第4回庄原市議会定例会一般質問概要(教育委員会関係分)について	—
第12回	第51号	教育委員会所管施設にかかる指定管理者の指定について	同意
	第52号	令和5年度庄原市一般会計補正予算(第7号)(教育委員会所管分)について	同意
	第53号	令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	協議	庄原市公立学校設置条例等の一部改正について	—
	協議	庄原市田園文化センター設置及び管理条例の全部改正について	—
書面表決	第54号	庄原市公立学校の廃止について	決定
	第55号	庄原市田園文化センターの設置について	決定
第13回	第56号	令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	報告	令和5年第5回庄原市議会定例会一般質問通告書及び質問事項について	—
	報告	令和5年第5回庄原市議会定例会一般質問概要(教育委員会関係分)について	—
	報告	令和5年度庄原市一般会計補正予算(第7号)(教育委員会所管分)について	—

## 令和6年(1月～3月)

開催番号	議案等	議 題 名	備考
第1回	第1号	庄原市公立学校の通学区域に関する規則及び庄原市選挙運動のためにする個人演説会開催のために必要な設備の程度等に関する教育委員会規則の一部改正について	可決
	第2号	令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	報告	地域の教育条件改善の要望書(庄原自治振興区・東三区教育振興協議会)について	—
	報告	令和6年度会計年度任用職員(教育委員会事務局)の任用予定について	—
	協議	教育委員会所管施設にかかる指定管理者の指定について	—
書面表決	第3号	教育委員会所管施設にかかる指定管理者の指定について	同意
第2回	第4号	令和6年度庄原市一般会計当初予算(教育委員会所管分)について	同意
	第5号	令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	協議	令和6年度教育行政施策の方針案について	—
	報告	庄原市立栗田小学校の統合に係る要望書について	—
	協議	令和6年度中学校入学式における告辞について	—
	報告	損害賠償額の決定について	—
第3回	第6号	令和6年度教育行政施策の方針の策定について	承認
	第7号	庄原市教育委員会の保有する個人情報等の適切な管理のための措置に関する要領の制定について	可決
	第8号	令和5年度庄原市一般会計補正予算(第9号)(教育委員会所管分)について	同意
	第9号	教職員の人事について	承認
第4回	第10号	庄原市田園文化センター設置条例施行規則について	可決
	第11号	庄原市選挙運動のためにする個人演説会開催のために必要な設備の程度等に関する教育委員会規則の一部改正について	可決
	第12号	庄原市公立学校その他の教育機関の長に対する事務委任規程の一部改正について	可決
	第13号	庄原市学校職員服務規程の一部改正について	可決

第4回	第14号	庄原市高等学校教育振興補助金交付要綱の一部改正について	可決
	第15号	令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	決定
	第16号	庄原市学校運営協議会委員の委嘱について	承認
	報告	令和6年4月1日付け人事異動内示資料（教育委員会関係）について	—
	報告	市議会3月定例会一般質問の概要（教育委員会関係）について	—

## 4 教育委員会議以外の活動状況

### 【教育総務課】

開催日	行事名等	活動内容
4月13日	第1回広島県市町教育長会議〔広島市〕	県教委主要事業説明等
4月25日	広島県都市教育長会春季総会〔オンライン〕	県教委等との意見交換等
5月18日・19日	全国都市教育長協議会定期総会・研究大会 〔北海道帯広市〕	実践発表、記念公演、視察研修
5月31日	広島県市町教育委員会連合会定期総会〔広島市〕	県教育委員会担当者等との意見交換等
6月29日	全国市町村教育委員会研究協議会〔オンライン〕	実践発表、グループ協議
7月7日	広島県女性教育委員グループ総会・第1回研修会 〔広島市〕	講話・グループ協議
7月12日・13日	教育行政視察研修〔京都市〕	不登校特例校・公立図書館視察
7月31日	令和4年度教育事務点検評価に関する意見交換会	教育事務評価検討委員との意見交換
8月23日	令和5年度庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典	式典
8月26日	日本PTA全国研究大会広島大会全体会〔広島市〕	記念講演等
10月20日	広島県都市教育長会秋季総会〔東広島市〕	授業参観、学校施設見学、県教委等との意見交換等
10月30日	広島県市町教育委員会連合会教育委員研修会〔広島市〕	講演、実践発表等
11月1日・7日・8日	市内県立学校視察（庄原特別支援学校、東城高校、庄原実業高校、西城紫水高校、庄原格致高校）	授業参観、学校施設見学、意見交換等
1月15日	市PTA連合会役員との懇談	教育施策・環境について
1月26日	第2回広島県市町教育長会議〔広島市〕	県教委等との意見交換他

### 【教育指導課】

開催日	行事名等	活動内容
4月7日	市内中学校入学式	教育委員会告辞
4月24日～5月11日	庄原市教育委員会事務局小学校・中学校訪問	授業参観、施設見学、意見交換等
5月20日～6月4日	市内小学校・中学校春季運動会（小学校15校、中学校7校）	参観
9月9日～10月28日	市内小学校・中学校秋季運動会（小学校15校、中学校7校）	参観
9月14日～1月30日	市内小学校・中学校研究会（小学校15校、中学校7校）	研究会視察
10月21日	庄原市教育フォーラム	小・中学生研究発表、講演
11月14日	庄原市中学校合唱コンクール	参観
3月7日	市内中学校卒業証書授与式	教育委員会告辞
3月22日	市内小学校卒業証書授与式	教育委員会告辞

## 【生涯学習課】

開催日	行事名等	活動内容
4月1日	庄原市民会館落成式	式典
5月28日	庄原市民会館リニューアルオープン記念フェスティバル	参観
7月1日	広島県スポーツ推進委員研究大会	参観
7月2日	庄原市スポーツ大使活用事業 金藤理絵氏レベルアップ水泳教室	参観
7月9日	第33回スポーツフェスティバル開会式	式典
7月20日	全国大会出場者壮行式（夏季）	式典
8月6日	第73回四県四郡市総合体育大会	参観
8月15日	庄原市二十歳を祝う会	式典
8月19日	第24回ひろしまクロスカントリー大会	参観
8月20日	庄原市民会館リニューアルオープン記念 琉球舞踊・組踊	参観
9月14日	NHK「新・BS日本のうた」公開収録	参観
9月16日	時悠館講演会「帝釈縄文人のゲノム解析の計画と展望」	講演参加
9月28日	全国大会出場者壮行式（秋季）	式典
10月21日	第18回庄原市民健康づくりグラウンドゴルフ大会	参観
11月12日	宝くじスポーツフェアドリームサッカー in 庄原	参観
11月18日	庄原市文芸大会表彰式	式典
11月19日	庄原市美術展覧会表彰式	式典
12月3日	第72回庄原市スター式駅伝大会	参観
12月7日	人権作品表彰式及び講演会	参観
1月31日	ヤマモトロックマシン旧研究室等視察	現地視察
2月18日	第9回庄原市民俗芸能大会	参観
3月17日	けんみん文化祭備北地区フェスティバル庄原大会	参観

## IV 教育事務評価検討委員の意見

### 1 庄原市教育事務評価検討委員

氏 名	所 属	委 嘱 区 分
倉石 憲良	庄原市民生委員児童委員協議会	学校教育関係者
松苗 富江	青少年育成庄原市民会議	学校教育関係者
小滝 詠司	庄原市PTA連合会	学校教育関係者
松木 悦子	庄原市社会教育委員	生涯学習関係者
藤原 二三幸	庄原市芸術文化振興審議会	生涯学習関係者
藤井 皇造	庄原市スポーツ推進審議会	生涯学習関係者
河村 和也	公立学校法人 県立広島大学	学識経験を有する者

### 2 点検及び評価の結果に関する主な意見

#### (1) 学校教育

- 7・8ページ「読書活動の推進」
  - ・ 課題に、図書標準を満たしていない学校があり、図書整備の計画的な充実が必要だとある。引き続き、予算確保に努めていただき、図書の環境整備を進めていただきたい。
  - ・ 庄原小学校が「子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞したことは、読書活動推進の取り組みを継続してきた成果の表れであり、とても喜ばしいことである。
- 7・8ページ「読書活動の推進」
  - ・ ビブリオバトル、ブックトーク、本の紹介といった似た言葉が混在しており、一般人にとって分かりにくい文章となっている。注釈を付ける等、分かりやすい表現としてほしい。
- 8・9ページ「外国語教育（活動）の推進」
  - ・ 「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業について、日本と韓国の中学生在英語で会話することは、外国語教育の目的において、英語圏の人々との交流と比べ、お互いにとっての第二言語のコミュニケーションが実現するため、非常に優れた取り組みである。

- 11 ページ「生徒指導の充実」
  - ・ 増加傾向にある児童生徒の不登校対策について、ICTを有効的に活用していく中で、各々の子供の特性に応じた学習ができるが、通信制の高校等へ進学した際の修学継続に結びついていない実態があり、高校進学後の学習にもつながる取り組みをお願いしたい。
  
- 16 ページ「食育の推進」
  - ・ 「広島県食育推進功労者賞」を受賞した永末小学校の取り組みは、学校教育における食育あるいは食農教育が正しく評価されたものであり、関係者の長年のご苦勞に敬意を表したい。
  
  - ・ 子供にとって、学校へ行く楽しみの一つに学校給食があると思う。「弁当の日」は、子供が自分で弁当を作る日とのことだが、その取り組みが、くれぐれも保護者や家庭の負担にならないよう配慮されたい。
  
- 22 ページ「県立学校との連携の推進」
  - ・ 市内の普通科高校と同様に、庄原実業高校も入学者数が近年減少傾向にある。そのため、教育振興補助金について、令和5年度に見直しを行い、令和6年度から庄原実業高等学校も対象に加えたことは、大変に評価できる。引き続き、学校の活性化や魅力ある学校づくりなど、高校の取り組みを支援していただきたい。
  
- 23 ページ「部活動地域移行についての検討」
  - ・ 生徒数が少ない学校においては、クラブの数が少ないため、そのクラブと同じ種目を指導できる方を確保するのは難しいと思われる。部活動の地域移行については、保護者や地域とも十分に連携しながら検討してほしい。

## (2) 生涯学習

- 40 ページ「図書館機能の充実」
  - ・ 田園文化センター改修工事により、新たに設置されたキッズスペースについて、令和6年度から供用開始となったが、今後、利用者の声を聞いていただく中で、改善等があれば取り組んでいただきたい。
  
  - ・ 図書館については、本を借りたり読んだりする場所というイメージが強いが、利用者の求めに応じ資料の情報を提供するレファレンスサービスも重要な柱の一つである。この業務について、市民の方に広く知られることが望ましい。
  
- 60 ページ「競技力の向上・ジュニアスポーツの推進」
  - ・ 文化・スポーツの全国大会等への出場者支援について、賞賜金の支給など、引き続き取り組みをお願いしたい。

○ 芸術・文化活動について

- ・ 令和5年4月に庄原市民会館がリニューアルされ、芸術・文化活動の発信について、これまで以上に、市民が発表する場と機会を持つことができるようになった。大変にありがたい。

一方で、芸術・文化活動については、発表者と鑑賞者のみの活動で終わることがないように、例えば、評価者を取り入れるなど、各々が交流できる仕組みとなることが望まれる。この仕組みを、様々な芸術・文化団体が取り入れていくことができれば、さらに、特色ある芸術・文化活動を推進できるのではないかと。

### (3) 家庭・地域の教育

○ 66 ページ「地域理解を深める教育活動の推進」

- ・ 「庄原市教育フォーラム」の開催については、引き続き、共催をしている市PTA連合会と連携を図っていただき、より多くの方に参加してもらえるように、盛り上げてほしい。

○ 69 ページ「放課後の子供の育成」

- ・ 家庭によって事情は様々であるが、放課後児童クラブや放課後子供教室に通っている子供と通っていない子供との間で、家庭学習に開きが生じないか心配をしている。地域におられる退職された教員の方など、学習支援について力をお借りすることはできないか。

### (4) その他

○ 教育委員会が取り組んでいる事業や取り組みについて

- ・ 多くの内容や活動があり、大変だと思うが、これらの実践は、子供にとっては成長の糧となり、市民にとってもやりがいにつながっている。質も高まり、大いに評価されるべきである。

今後も継続していくことや、精選すること、新しい視点を取り入れていくことなど、難しい面もあると思うが検討もお願いしたい。

○ コロナ禍後の事業再開について

- ・ 令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行してから、様々な事業が再開され、コロナ禍前に戻りつつある。大変に喜ばしいことである。